(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
1	個人	専用フォーム	No.1	区民センター建て替えに当たって、様々なサークル活動が維持継続できるような方策・プランを示して欲しい。あと数年しか活動できないと考える人が増え、活動が出来なくなるのではと苦慮している。	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、令和6年7月から事業者公募を開始したところですが、参加資格通過者を対象として10月に実施した第1回競争的対話の結果、工事費等の高騰により区のでめる提案上限価格の中での事業実現が困難と判明しました。</p> <p>この結果を受けて事業費の再算定及び区財政への影響について検証を行ったところですが、中長期の財政運営は厳しい状況となることが明らかとなり、本事業については適切な見直しを行う必要があることから、現在の公募条件での事業実施を中止したうえで、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととしました。既存施設の運営期間や事業開始時期は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>引き続き、持続可能な施設サービスの実現に向けて検討を進めていきます。</p>	企画経営部
2	個人	専用フォーム	No.1	統合にあたって使わなくなった学校の校舎の使用など、区民ギャラリーで行っていた展覧会ができる場所を考えて欲しい。	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととなりました。既存施設の運営期間や事業開始時期は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>なお、現在、取組を進めている第七中学校・第九中学校、第八中学校・第十一中学校の統合につきましては、統合後の跡地や跡施設について、周辺の小中学校の学校施設の更新時における仮設校舎としての利用や施設整備に向けた活用を検討することとしています。</p>	企画経営部 教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
3	個人	専用フォーム	No.1	区民センター、目黒美術館の取り壊し及び再開発に反対する。くみん展やワークショップなど小学生の頃からの思い出が詰まった場所を利益優先のために取り壊し、マンションにし、美術館を縮小してしまうのでは子どもたちが自分の作品が美術館に飾られる経験や子どもの感性を育む場所を奪うことになる。子どもの頃文化的に豊かな経験ができるほうがその人の一生がより豊かになり、そして区民の文化的基盤を育むことになるとおもう。決定権のあるおとなたちが責任を持って今のこどもたち、未来のこどもたちのことを考えるべきである。	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、令和6年7月から事業者公募を開始したところですが、参加資格通過者を対象として10月に実施した第1回競争的対話の結果、工事費等の高騰により区の定める提案上限価格の中での事業実現が困難と判明しました。</p> <p>この結果を受けて事業費の再算定及び区財政への影響について検証を行ったところですが、中長期の財政運営は厳しい状況となることが明らかとなり、本事業については適切な見直しを行う必要があることから、現在の公募条件での事業実施を中止したうえで、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととしました。</p> <p>既存施設の運営期間や事業開始時期は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>引き続き、持続可能な施設サービスの実現に向けて検討を進めていきます。</p>	企画経営部 文化・スポーツ部
4	個人	専用フォーム	No.1	環境負荷、旧来のようなタワマンありきのような再開発は見直すべき時代だと思う。目黒区は目黒区総合庁舎のように、古い建築をリノベーションした先進的な事例があり、評価されている訳で、この精神を目黒区内の他の事業でも発揮してほしい。	4	建て替えを行うか、既存建物を活用するかについては、施設サービスの充実や財政負担の軽減といった観点を踏まえ、個々の事案ごとの判断が必要と考えています。	企画経営部
5	個人	専用フォーム	No.1	目黒区民センターは躯体を活かし、環境負荷を考えたりニューアルにしてほしい。	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、令和6年7月から事業者公募を開始したところですが、参加資格通過者を対象として10月に実施した第1回競争的対話の結果、工事費等の高騰により区の定める提案上限価格の中での事業実現が困難と判明しました。</p> <p>この結果を受けて事業費の再算定及び区財政への影響について検証を行ったところですが、中長期の財政運営</p>	企画経営部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
						<p>は厳しい状況となることが明らかとなり、本事業については適切な見直しを行う必要があることから、現在の公募条件での事業実施を中止したうえで、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととしました。</p> <p>既存施設の運営期間や事業開始時期は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>引き続き、持続可能な施設サービスの実現に向けて検討を進めていきます。</p>	
6	個人	専用フォーム	No.1	目黒区民センター敷地内の樹木を伐採しないでほしい。	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、今後、事業の再検討を行うこととしておりますので、詳細は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p>	企画経営部
7	個人	専用フォーム	No.1	目黒区美術館は解体の必要は全くない。	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、今後、事業の再検討を行うこととしておりますので、詳細は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p>	企画経営部 文化・スポーツ部
8	個人	専用フォーム	No.1	下目黒小学校の建て直しは、通学路が変わらないよう、普通の学校の建て替えのように、敷地内に仮校舎を建てる方式にしてほしい。	3	<p>下目黒小学校の建て替えですが、敷地内に仮設校舎を建設する場合には、建物敷地面積の都合上、①工事期間中は校庭が使用できない、②工期が長くなる、③新校舎の平面配置や規模などが制約される、④工事の騒音や振動の影響を受けるといったデメリットがあります。</p> <p>一方、めぐろ学校サポートセンターを常設仮校舎として活用する場合には、建替期間中も校庭を使用でき、工期も短くなります。加えて、新校舎の計画についても一定の自由度が確保されるため、より良い形で校舎を整備していくことが可能となります。以上を踏まえ、区としては学校の教育環境の確保という観点から、常設仮校舎の活用が望ましいと考えております。なお、工事期間中の児童の通学につきましては、ご意見の趣旨を踏まえ、スクールバスの運行を検討するなど、児童の安全・安心の確保に鋭意努めてまいります。</p>	企画経営部 教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
9	個人	専用フォーム	No.1	区民センターの屋内プール、屋外プール、図書館、体育館、児童館、テニスコートなど、住民のための公共スペースが現在より減るような再開発はしないでほしい。	4	新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、今後、事業の再検討を行うこととしておりますので、詳細は今後整理し、あらためてお伝えいたします。	企画経営部
10	個人	専用フォーム	No.1	区民センター内の貴重な平和のための施設をそのまま継続してほしい。	4	区民センターや区民センター公園に設置されている記念碑やめぐろ平和の鐘、祈念樹木等につきましては、平和祈念の象徴として設置されております。 新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、今後、事業の再検討を行うこととしておりますので、詳細は今後整理し、改めてお伝えいたします。	企画経営部 総務部
11	議会	メール	No.1	<ul style="list-style-type: none"> ・区民センター整備の現計画におけるPFI事業の公募を中断した今こそ、PFI事業をやめ、現在の建物の大規模改修を含めて整備のあり方を再検討し、区有施設整備に集中したコンパクトな計画にすること。 ・目黒区美術館の現在の建物は、区民や建築関係の専門家らの評価が高く、引き続き、現建物を生かして運営してほしいという要望が寄せられている。同美術館の建物は解体せず、引き続き区の美術館として活用し運営すること。 ・区民センター部分の地区計画は、現建物の高さを超えない設定にすること。 ・区立下目黒小学校の整備はPFI事業ではなく区の直営事業にすること。また、整備時の仮校舎については、めぐろ学校サポートセンターの常設仮設校舎の使用を前提とせず、従来の学校敷地内の整備も含め、児童、保護者、学校関係者の意向を十分に聴き入れた計画にすること。 	3,4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、令和6年7月から事業者公募を開始したところですが、参加資格通過者を対象として10月に実施した第1回競争的対話の結果、工事費等の高騰により区の定める提案上限価格の中での事業実現が困難と判明しました。</p> <p>この結果を受けて事業費の再算定及び区財政への影響について検証を行ったところですが、中長期の財政運営は厳しい状況となることが明らかとなり、本事業については適切な見直しを行う必要があることから、現在の公募条件での事業実施を中止したうえで、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととしました。詳細は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>引き続き、持続可能な施設サービスの実現に向けて検討を進めていきます。</p> <p>下目黒小学校の建て替えですが、敷地内に仮設校舎を建設する場合には、建物敷地面積の都合上、①工事期間中は校庭が使用できない、②工期が長くなる、③新校舎の平面配置や規模などが制約される、④工事の騒音や振動の影響を受けるといったデメリットがあります。一方、めぐろ学校サポートセンターを常設仮校舎として活用する場合には、建替期間中も校庭を使用でき、工期も</p>	企画経営部 文化・スポーツ部 街づくり推進部 教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
						<p>短くなります。加えて、新校舎の計画についても一定の自由度が確保されるため、より良い形で校舎を整備していくことが可能となります。</p> <p>以上を踏まえ、区としては学校の教育環境の確保という観点から、常設仮校舎の活用が望ましいと考えております。</p> <p>学校施設の計画的な更新については、ご意見の趣旨を踏まえ、児童、保護者及び学校関係者の皆様のお声に真摯に耳を傾けながら計画を進めてまいります。</p>	
12	議会	書面	No.1	<p>新たな区民センター整備と周辺まちづくりについては、現時点で公募が中断となり、既に計画期間どおり事業が進まないこと、事業費に大幅な変更が生じること等が明確である。実態に則した計画に変更すること。</p>	4	<p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、令和6年7月から事業者公募を開始したところですが、参加資格通過者を対象として10月に実施した第1回競争的対話の結果、工事費等の高騰により区の定める提案上限価格の中での事業実現が困難と判明しました。</p> <p>この結果を受けて事業費の再算定及び区財政への影響について検証を行ったところですが、中長期の財政運営は厳しい状況となることが明らかとなり、本事業については適切な見直しを行う必要があることから、現在の公募条件での事業実施を中止したうえで、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととしました。詳細は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>引き続き、持続可能な施設サービスの実現に向けて検討を進めていきます。</p>	企画経営部
13	議会	書面	No.1	<p>新たな区民センター整備と周辺まちづくりの見直しは、実施計画全体にも影響する他、財政計画にも大きく影響するため、実施計画の改定は区民センター整備方針の見直し後にすべきではないか。</p>	4	<p>新たな区民センター整備と周辺まちづくりの取組については、事業費を再算定して検証等を行った結果、再検討を行うこととなりました。</p> <p>このため、事業計画個票No.1については、現時点の方向性を掲載することとし、素案から修正しております。</p> <p>また、再検討には相応の時間を要することが見込まれます。</p>	企画経営部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
14	議会	書面	No.1	<p>実施計画改定素案P 8. 「新たな区民センター整備と周辺まちづくり」</p> <p>(1) 公募を一旦立ち止まることになった経緯からも手法・建て替え・リーディングプロジェクトの方向性を早急に示し、実施計画事業に反映させること。</p> <p>(2) 所管課だが、司令塔は資産経営課である。「関係各課」⇒「資産管理課及び関係各課」としては如何か、見解を伺う。</p>	4	<p>こうした状況を踏まえつつ、実施計画事業を円滑に実施し、区民生活への影響を最小限とする観点から、実施計画は当初のスケジュールどおり改定することとしますが、区財政への影響を捉えつつ、社会経済状況等を注視したうえで、必要に応じて適宜改定を行う等、柔軟に対応してまいります。</p> <p>新たな目黒区民センター等整備・運営事業につきましては、令和6年7月から事業者公募を開始したところですが、参加資格通過者を対象として10月に実施した第1回競争的対話の結果、工事費等の高騰により区の定める提案上限価格の中での事業実現が困難と判明しました。</p> <p>この結果を受けて事業費の再算定及び区財政への影響について検証を行ったところですが、中長期の財政運営は厳しい状況となることが明らかとなり、本事業については適切な見直しを行う必要があることから、現在の公募条件での事業実施を中止したうえで、これまでの取組を踏まえながら、事業の再検討を行うこととしました。詳細は今後整理し、あらためてお伝えいたします。</p> <p>引き続き、持続可能な施設サービスの実現に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、所管課の表記ですが、「新たな区民センター整備と周辺まちづくり」につきましては、新たな目黒区民センターの構成施設の各所管課のほか、周辺街づくりや道路拡幅事業、常設仮校舎の整備といった関連する取組についても並行して進める必要があり、部局横断的な内容であることから「関係各課」としているところです。</p> <p>本取組においては、資産経営課が総合調整を行いながらも、関係各課が各々の責任のもと、所掌する取組を適切に進めていく体制が重要であることから、原文のとおりといたします。</p>	企画経営部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
区政運営方針に係る事業							
15	議会	メール	No.2	地方公共団体システム標準化については、職員へ過度の負担を強制しないこと。また、国の事業であるので、引き続き、国に対して財源の負担を求めること。	3	標準準拠システムの本番切替に向けて、操作研修やテスト、リハーサル等のスケジュールにつき、関係所管課の繁忙期等を勘案して計画化するなど、職員の業務負担に配慮しながら対応を進めます。 また、システム標準化に係る財源については、これまで同様に国の補助金を積極的に活用していくとともに、さらなる財源の確保に向けて、東京都や都内区市町村と共同して国に対して必要な要望を行ってまいります。	情報政策推進部
16	議会	メール	No.2	No. 2 地方公共団体システム標準化の推進 児童手当等の法改正の影響などにより、移行困難システムが発生している。「コスト削減に向けて国や都等の補助金を活用」との記載があるが、単に国や都から準備されたメニューに従うのみではなく、追加的な費用については積極的に求めて頂きたい。	3	令和7年度から本番切替する標準準拠システムと、令和8年度以降に切替となる特定移行支援システム(旧・移行困難システム)との過渡期における追加費用などが新たに発生することが見込まれるため、さらなる財源の確保に向けて、東京都や都内区市町村と共同して国に対して必要な要望を行ってまいります。	情報政策推進部
17	議会	メール	No.3.4	デジタル化や情報端末整備の対応については、従来から整備にかかる区市町村の負担が大きかったことから、国に対しさらなる国庫補助を要求すること。	2	区のデジタル化の取組については、要件に該当するものは国の補助金を活用し、初年度における導入コストを削減しております。今後もデジタル技術を活用した区民サービス向上の取組を効率的に進めるため、国や東京都等の補助金を積極的に活用していくとともに、必要に応じて国や東京都等に対して要望を行ってまいります。	情報政策推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
18	個人	専用フォーム	No.5	<No. 5 総合的な子ども家庭支援体制の構築> ただ整備するだけでなく、入口を入りやすいような雰囲気(駄菓子屋さんや図書館分館などを誘致するなど)にしたり、アウトリーチする準備をしたりと、支援が必要な人に届くよう工夫して整備してほしい。	3	こども総合相談センターは、妊娠期から青年期までの子どもとその家庭に対する総合的な支援の拠点を目指しています。施設整備にあたっては、子どもとその家族が来所しやすく必要な支援に結びつくような環境を整えていきます。	子育て支援部
19	議会	メール	No.5	令和12年度、第三ひもんや保育園跡地に整備予定の子ども総合相談センターの建設の計画については、建設現場の働き方改革や、人手不足、資材高騰などの状況を踏まえ、計画どおり実施できるよう、区として調整や支援を行うこと。また、東京都が設置する予定の碑文谷保健所跡地に整備する都立児童相談所・一時保護所についても、建設現場の状況などを踏まえ、整備が遅れないように、東京都と連絡調整を行うこと。	3	こども総合相談センターの整備につきましては、計画に沿って進むよう、関係機関と調整を行いながら適切な対応を図っていきます。 また、碑文谷保健センター跡地に予定しています都立児童相談所・一時保護所の整備についても、東京都と調整を図りながら、適切に対応していきます。	子育て支援部
20	個人	書面	No.6、No.8	区立保育園の民営化、区立児童館及び学童保育クラブの民間事業者による運営は保育の質の低下、行政との連携が難しくなると考えられ賛成できない。もし実行するなら工夫を。	3	区立保育園等の民営化は、持続可能で安定的な区民サービスを提供することを目的として実施するものです。運営する事業者ごとに特色のある保育が実施されるとともに、公立と同等の保育サービスを提供しています。民営化後は、事業者と連携・協力するとともに、定期的な支援を行うなど、保育の質の確保及び向上を図ります。	子育て支援部
21	議会	メール	No.7	学童保育クラブの待機児童解消は、ランランひろばなど「放課後児童対策」だけで解消するのではなく、きちんと学童保育クラブそのものの拡充を行うこと。そのための計画を作成すること。	3	学童保育クラブについては、コロナ禍を契機として、保護者の働き方が変わったことに伴い、学童保育クラブの利用時間等に変化が見られます。そのような中で、学童保育クラブをこれまでのように新規整備することは、中長期的に定員割れによる空き室を増やすことになりかねない状況にあると考えています。区は、今後の方向性として、新たに学童保育クラブを整備するのではなく、保護者の就労状況にかかわらず、すべての児童が安全・安心に過ごせる居場所を提供するとともに、様々な理由で保育が必要な児童は、等しく学童保育クラブを利用できる仕組みへの見直しを図っていきます。	子育て支援部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
22	個人	専用フォーム	No.8	<p><No. 8 区立児童館及び学童保育クラブの民間事業者による運営></p> <p>不登校児童生徒が大幅に増えているため、放課後だけでなく日中の居場所の選択肢としての児童館にも期待している。東根でスタートした事業を拡大し、日中の行先としての児童館の整備(学習支援員の確保)もお願いしたい。</p>	3	<p>不登校児童・生徒への支援に資する「めぐろエミール 室外指導」については、令和6年5月から東根住区センター児童館で開始しています。</p> <p>各児童館等への拡大については、当該館での効果・検証を踏まえながら区としての不登校児童・生徒に対する取り組みの中で考えてまいります。</p>	子育て支援部 教育委員会
23	個人	専用フォーム	No.8	<p>区立の学童保育、児童館を民間まかせにしないでほしい。また拡充も求める。</p>	3	<p>児童館・学童運営に際しては、区の運営指針に基づき、実績があり質の高いサービスを提供している事業者に対して、委託事業として行っています。</p> <p>公営・民営にかかわらず同等のサービスを提供しており、民営化後も区が責任をもって事業者に対する支援・育成を行っており、民間まかせになっている状況ではありません。</p> <p>引き続き、学童保育クラブの利用実態を把握するとともに、今後も広く「放課後の居場所」の充実に努めながら多様なニーズに添えていきます。</p>	子育て支援部
24	議会	メール	No.8	<p>区立学童保育クラブは区内全体の保育水準を維持していく上で大きな指針となるので、既存の公設公営の学童保育クラブの民営化推進はやめ、引き続き、直営で運営すること。</p>	5	<p>民営化は、持続可能で安定的な区民サービスを提供することを目的として実施するものです。公営・民営にかかわらず同等のサービスを提供しており、民営化後も区が責任をもって事業者に対する支援・育成を行うことで、保育の質の確保及び向上を図ります。</p>	子育て支援部
25	議会	メール	No.9	<p>GIGAスクール構想については、タブレットを活用した教育の効果検証が求められる。子どもの視力の低下の問題や、「デジタル教材」先進国スウェーデンで学力の低下が顕著になったなどの報告もある。子どもの発達に応じてタブレットが活用されているのか。子どもへの身体的影響、学習面、生活指導面でどのような効果があるのか。など、教育委員会として検証を行うこと。</p>	4	<p>学習用情報端末を活用することでの効果としては、児童・生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現し、学びの質が向上していると捉えております。一方、視力低下等の問題も指摘されていることから、活用方法や使用時の留意点につきましては、検討・検証してまいります。</p>	教育委員会
26	議会	書面	No.9	<p>実施計画改定素案P16. 「学校のICT環境整備」</p> <p>(1) 主たる達成目標</p> <p>文章の冒頭に「子ども一人ひとりのウェルビーイング実現</p>	1	<p>(1) 主たる達成目標について</p> <p>ウェルビーイングは、「GIGAスクール構想」及び「MEGUROスマートスクール・アクションプラン」</p>	教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
				を念頭におき、「」という文言を挿入していただきたい。 (2) 経営資源の有効活用の観点で期待される効果や工夫文章内の「自宅Wi-Fi活用等」との記載があるが、全家庭にWi-Fi機器を設置することを求めているような表現になっている。「既存の家庭にあるWi-Fiを利用させてほしい」との意であることは所管委員会での質疑でわかったが、もう少しわかりやすい表現に修正いただきたい。		において、当然、念頭にしている概念と認識しておりますので、あらためて記載する必要はないと考えております。 (2) 自宅Wi-Fi活用等について ご意見を踏まえて文言を修正します。	
27	議会	メール	No.10.11	統廃合された目黒南・西中学校整備および学校施設の更新では、建設現場の働き方改革や、人手不足、資材高騰などの状況を踏まえ、計画どおり実施できるよう、区として現場に対する調整や支援を実施すること。資材高騰の財源を国に求めること。	3	新校舎建設工事については、建設現場の働き方改革や、人手不足、資材高騰などの状況を踏まえ、計画どおりに新校舎整備を進めていけるよう、区と建設事業者との間で必要な調整を図ってまいります。また、新校舎整備に活用可能な補助金について、国等との調整を十分にを行い、財源の確保に努めます。	教育委員会
28	議会	書面	No.11	学校施設の計画的な更新については、物価高騰(建築資材高騰)や人手不足の影響を受けて、事業の進捗と事業費に大きな変更が生じることが懸念される。そのあたりの見込みを実施計画に盛り込んでおく必要はないか。	2	ご意見の趣旨のとおり、学校施設の更新に係る事業費については、建設資材価格や工事費の高騰を見込んだ算定としています。引き続き事業を進めるに当たっても、建設工事費デフレーター、建設労働需給、建設資材物価指数などの各種経済指標の動向を注視するとともに、事業者との対話により現場の費用感や景況感などを把握しながら、事業の進捗管理に努めてまいります。	教育委員会
29	議会	メール	No.11	No.11 学校施設の計画的な更新 今後も物価や人件費の上昇が進む中、区民センター更新の公募が中断となっているほか、西中・南中の建設も当初予定より遅れている。児童生徒の安全や避難所運営の視点から、今後の学校施設の更新については着実に計画を進められるよう最大限に努力されたい。また、可能な部分は前倒しでの整備も検討されたい。	4	令和7年度から令和8年度にかけて、学校施設更新計画の改定に取り組むことを予定しています。同計画の改定においては、各校の老朽化の状況や築年数のほか、建設物価や人件費の高騰といった社会経済情勢の変化を考慮し、適切な見直しを図る予定であり、整備スケジュールについては改定検討作業と並行して整理していきます。ご意見の趣旨のとおり、児童・生徒の安全・安心を確保し、教育環境の充実を図るとともに、地域の避難所運営の重要性も踏まえて、計画を着実に進められるよう鋭意努力いたします。	教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
30	議会	書面	No.11	実施計画改定素案P18.「学校施設の計画的な更新」令和8年度に第一中学校の設計業者選定となっているが、選定前までに区有施設全体の効率化を図るため、また区立学校の魅力向上のため、第一中学校の敷地に駒場小学校を新設・移転し、小中連携校とする方針を決めておくこと。	4	敷地を一体化した小中連携校については、ご指摘のとおり、区有施設更新の効率化や区立学校の魅力向上に資するものと思われませんが、一方で、学校における授業運営や小学校児童の通学距離などで、課題があるものと認識しております。 今後の児童・生徒数の状況を注視しつつ、地域や社会との連携強化や学校同士の連携等による取組を今後検討してまいります。	教育委員会
31	議会	メール	No.12	学校の空調設備の更新事業計画の策定にあたっては、近年の猛暑の影響で、特に学校上層階の教室で空調が効きづらいと言う声が上がっていることから、快適な教育環境の整備のため、教育現場、子どもたちの声を聞いて優先順位を定め、早急に改善する計画を策定すること。 整備手法では、PFIやリース方式ではなく、設計、設置、モニタリングなど柔軟に対応でき、区内の空調設備事業者の協力が得られる直営方式で進めること。	2	令和7年度に、空調設備の更新事業計画の作成に取り組むことを予定しております。事業計画は、既存の空調設備の老朽化状況、経過年数、各校の今後の建て替え時期等を考慮するとともに、教育現場や子どもたちの声も踏まえて、具体的な内容を検討します。 整備手法については、ご意見の趣旨のとおり、区内事業者からの協力を得られるような手法とすることを念頭に置いて、適切な手法の選択に努めます。費用対効果を踏まえ、効果的・効率的な設備更新と維持管理が行えるよう、PFIや直営方式などの各手法を組み合わせた更新事業とすることができないかといった点も研究の対象とし、さらなる検討を深めてまいります。	教育委員会
32	個人	専用フォーム	No.13	<No.13 電子図書館資料の充実> ただ学校に対して「電子図書館を使ってください」と伝えても、先生に相当のモチベーションがなければ使わないと思う。公共図書館の職員さんが学校へ出向き、先生や児童生徒に、電子図書を使ったおはなし会をしたり、電子図書の使い方に関するチラシを配布したり、広報における連携が必要だと思う。	2	めぐろ電子図書館の学校での利用につきましては、図書館と学校及び関係所管課が連携し、児童・生徒、教職員が利用しやすい環境づくりに努めてまいります。	教育委員会
33	個人	専用フォーム	No.14	駒場公園の文化財は、このまま形で、保存状態よく残せるようにしてほしい。	2	旧前田家本邸保存活用計画に基づき、保存修理及び復元を実施していきます。	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
34	個人	書面		歳入を増やすためにも若い世代に目黒区に住んでいただきたい。子育て施策をより一層充実して、目に見える形でPRしていくことが大事だと考える。	4	各世代、対象のニーズ等を捉えた施策の推進・充実を図るとともに、支援が必要な方々に幅広く周知ができるよう検討していきます。	子育て支援部
35	個人	専用フォーム		子どもがいない町は、寂れていくので、子育て支援の為に施設を、充実してほしい。	4	子育て世帯のニーズに合わせた環境づくりを検討していきます。	子育て支援部
36	個人	専用フォーム		<p>昨年の区長との懇談会で約束をしていただいた件が入っていない。</p> <p>常設プレーパークの設置に向けて、場所の選定と、子どもも参加した設置会議の開催を求める。</p>	4	<p>プレーパークは、子どもの非認知能力※を高めるとともに、一人一人の健やかな成長にとって大切な居場所です。</p> <p>区内には現在常設のプレーパークはありませんが、居場所としてどのような環境や支援があるべきかを子ども達の参加も含め、検討を進めていきます。</p> <p>※非認知能力・・・コミュニケーション力や自制心など、社会生活を営むうえで必要なもの</p>	子育て支援部
37	個人	専用フォーム		不登校や学校への行きづらさを抱えた子供達のための、場当たりのでない、体系的な支援対策を求める。(校内居場所の設置、給食支援、オンライン授業の実施、SSWの増員、フリースクール補助、民間の居場所活動との連携、etc)	3	<p>不登校対応については、国や都の動向を踏まえ、計画的に取り組んでおります。</p> <p>学習支援教室「めぐろエミール」では、地理的に区内南西部からの利用が少ない状況があったため、令和6年度は東根住区センター児童館における室外指導を実施しております。また都の施策が活用できた区立中学校では、不登校対応巡回教員の配置を受け、各校に整備した校内別室の指導を含め、不登校対応の校内体制の充実を図っているところです。</p> <p>令和6年7月には、学習用情報端末から児童・生徒が直接相談を求められる「めぐろそうだんポスト」の運用を始めました。</p> <p>この他、4月には保護者向けのガイドを公表し、9月には不登校について考える講演会を実施することで、直接の声をもとに寄り添った支援が行えるよう取り組んでおります。</p> <p>今後も、様々な不登校に係る取組について調査・研究し、目黒区にあった方法を検討・実施してまいります。</p>	教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
38	個人	専用フォーム		普通級在籍の特別支援児への個別最適な支援体制(オーダーメイドなカリキュラム作りができる特別支援の専門家による支援)の構築を求める。	2	全ての教員が、障害のある児童・生徒を含め、多様な児童・生徒が通常の学級に在籍していることを前提として、全ての児童・生徒に対し、学習成果が得られるような分かりやすい授業づくりを進めております。 また、通常の学級において安全・安心に学ぶことができるよう、多様性を尊重した学級づくりの推進に取り組んでいるところです。今後も引き続き、児童・生徒を取り巻く関係者の連携を図り、一人ひとりに寄り添った支援体制の充実を図ってまいります。	教育委員会
39	個人	専用フォーム		小中学校の1クラス通年2名担任制あるいは1クラス15~20人学級制を求める。	6	法律の改正により、小学校における学級編制の標準については、令和7年度までに段階的に35人へ引き下げられており、中学校においては、令和8年度から35人学級を導入する方針が示されております。東京都から配置された教員に加え、区独自の学習指導講師や学習指導員を配置することで指導の充実を図ってまいります。	教育委員会
40	個人	専用フォーム		小中学校に正規雇用の司書常駐を求める。	4	学校規模に応じて司書教諭を配置するとともに、学校図書館を活用した学習活動を指導計画に基づき工夫しながら実施しています。国の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」には、多様な子どもたちの読書機会の確保のために、子どもたちが利用しやすい書籍及び電子書籍の整備や読書環境の充実に努めることが求められています。「目黒区子ども読書活動推進計画(仮称)」の策定を進める中で、目黒区の方向性を検討し、策定した計画に沿って、学校図書館の充実を図ってまいります。	教育委員会
41	個人	専用フォーム		外国人の児童生徒に対する支援の充実(通訳の初期支援、学習支援、居場所の充実、など)	4	日本語指導を必要とする児童・生徒が年々増加しており、目黒区でも増加傾向にあることを認識しています。目黒区では東根小学校に日本語国際学級を設置し、日本語指導を行っているほか、田道小学校、東山小学校、東山中学校では、日本語指導担当教員の加配を受け指導しております。このような日本語指導担当教員の配置がな	教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
						い学校については、日本語指導員と日本語指導業務推進員を派遣して、日本語指導を実施しており令和5年4月からは日本語指導業務推進員の配置を2名から4名に増員しました。令和6年度は、新たな日本語指導員の確保と指導力の向上を図るため、初めて指導を行う日本語指導員を対象に年6回の日本語指導研修を行いました。 また、学校外における支援についても関係機関等と連携を図りながら、必要とする児童・生徒に情報が伝えられるよう取り組んでまいります。	
42	個人	専用フォーム		学童保育のQOL低下の改善を求める(定員オーバーの解消、場所の拡大、支援員の充実)。学童保育と学校との連携を求める。不安定な1年登録更新制の見直し。	3	小学生の放課後の居場所については、小学校内に学童保育クラブとランランひろばを一体的に整備することで、多様な居場所を提供しています。また、従事する職員への研修や支援、指導と合わせて、利用者アンケートや第三者評価を実施することにより、日々、質の確保及び向上に努めています。 なお、学童保育クラブは、より保育が必要な低学年の児童が優先して入所できるよう、単年度申請としています。ただし、クラブが変わったとしても、継続して子どもが安心して過ごせる居場所の確保を図っています。	子育て支援部
43	個人	専用フォーム		全区立学校コミュニティスクール化のための啓発活動、勉強会、地域の熟議の場の設置推進を求める。	3	区立学校・園への学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)導入については、令和7年度より学校運営協議会を各区立学校・園に順次設置し、令和11年度中に全区立学校・園に設置することを目標として掲げ、取組を進めております。 当該取組において、学校と地域の効果的な連携・協働を推進していくため、教育委員会が学校への伴走支援を行うとともに、保護者や地域の方に向けたちらしの作成やイベントの開催等により、周知啓発を図ってまいります。	教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
44	個人	専用フォーム		日本被団協が、ノーベル平和賞を受賞したいま、被爆樹を引き継いだ木が区内にあることを平和教育に活かしてほしい。	4	平和に関する学習については学習指導要領に基づいて、小・中学校とも社会科を中心に行っているところです。学校によっては、教科での指導のほかに、学校だよりや全校児童・生徒に向けた校長講話等で、平和について考える機会を設けている学校もあります。今後も日本被団協のノーベル賞受賞や本区にある被爆樹等、児童・生徒の実態に応じて平和教育に関する内容として取り上げながら、平和教育の充実に努めてまいります。	教育委員会
45	個人	専用フォーム		こどもたちのために、安全に遊べるプレーパークを作してほしい。	4	プレーパークの設置については、居場所としてのどのような環境や支援があるべきか様々な検討を進めていきます。	子育て支援部
46	個人	専用フォーム		区立保育園は民営化するのではなく、公営のままにしてほしい。保育はセイフティーネットである。	5	区では、今後も待機児童ゼロを維持するとともに、多様な保育ニーズに適切に対応していくため、区立保育園と私立保育園が一体となって、区全体の保育の質の向上に取り組んでいくことが求められます。そのための手段として引き続き、民間活力の活用・連携をさらに推進していきます。	子育て支援部
47	個人	専用フォーム		区立保育園がモデル園となって、特性のある子やアレルギーのある子など、民間では受け入れられにくいこどもの受け皿になってほしい。	3	現在区では、医療的ケア児も含め特性のある子どもやアレルギーのある子どもを受け入れています。公立・私立問わず今後も保育サービスの充実に努めていきます。	子育て支援部
48	個人	専用フォーム		世田谷区では人件費50%以下の園には補助金を出さないなど、保育士の待遇が守られる工夫がある。目黒区でも保育士の待遇改善に繋がることをしてほしい。	5	区は、保育事業者に対して、法令等に沿って適正に運営がなされているか定期的に巡回し、必要に応じて指導・検査を行っています。 保育士の処遇改善に関しては、国、都の補助や区の加算措置等も行いながら、改善に努めます。	子育て支援部
49	団体	専用フォーム		基本目標1 「多様な保育・教育の充実」の事業について「子育て子育てへの支援」という政策の中に「多様な保育・教育の充実」という施策を立てていることに賛同する。しかしながら、その具体策については「区立保育園の民営化」しかなく、「教育の充実に資する事業」がない。目黒区の幼児教育は私立幼稚園が担っており、私立幼稚園	3	目黒区の幼児教育は、区立幼稚園・こども園、私立幼稚園、区立保育園、私立保育園等を含む、区内全ての就学前施設において行われております。 教育委員会では、幼児期の教育の充実と、幼稚園・保育所等と小学校との連携により幼児教育と小学校教育の円滑な接続が図れるよう、区内全ての就学前施設と区立	教育委員会

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
				<p>の幼児教育を中心に、目黒区の幼児教育がより充実する施策が必要である。</p> <p>例えば、文部科学省が推し進めている「幼保小架け橋プログラム」を私立幼稚園が主体となって小学校と連携がとれるような開発目標や、私立幼稚園の資産を生かした地域との連携や、保育所との連携を図り地域へ幼児教育の輪を広げる活動などが必要である。</p>		<p>小学校の教職員を対象とした研修を実施しております。この他、区立幼稚園・こども園では、近隣幼稚園や保育所からの求めに応じて、実施している幼児教育の取組について視察を受け入れたり、研修や情報交換をする機会を設けたりもしているところです。今後も、幼児一人ひとりのよさや可能性を伸ばしながら、生涯にわたる生活や学習の基盤となる生きる力の基礎を育む質の高い教育が全ての就学前施設で行われるよう、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>また、今回改定する「目黒区実施計画」では多様な保育・教育の充実の具体策として取り上げているテーマは「区立保育園の民営化」のみですが、子育て支援部では他にも幼児教育や多様な保育の充実に関する様々な施策を実施しております。その他の施策につきましては、子ども総合計画も展開しておりますのでそちらもあわせてご覧ください。</p>	
50	団体	メール		<p>区立図書館を区民の憩いの場にしてほしい。目黒の図書館の誇りは電子書籍が充実していることであると聞いた。小中学校の生徒たちの読書活動の推進に寄与している、あるいは図書館に出向かなくてもすむ利便性があるなどのメリットが喧伝されている。本ばなれが心配される昨今いながらにして本に触れられるメリットは生徒たちや高齢者にもやさしい面は確かにある。しかし、電子図書の充実の反面、一般図書が増えない、書棚を見て出合える本が少なくなったなどということはないだろうか。資料のデジタル化などの対策は必須であるし地域の資料の収集も進めたい。一方誰もがいつでも美しい本に出会うことができ、ふらっと立ち寄りくつろげるような場所でもあって欲しいと願っている。</p>	3	<p>図書館は「目黒区立図書館基本方針」に基づき「文字・活字文化」を中核とする、知・文化及び地域の情報拠点としての図書館づくりを目指しております。非来館サービスとして電子資料の充実に努めるとともに、紙資料の充実も図り、地域資料についても収集・活用・保存に一層努めてまいります。</p>	教育委員会
51	議会	メール		<p>区立保育園は区内全体の保育水準を保っていく大きな指針となり、数を確保することが必要であることから、現在</p>	5	<p>区では、今後も待機児童ゼロを維持するとともに、多様な保育ニーズに適切に対応していくため、区立保育園</p>	子育て支援部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標1 学び合い成長し合えるまち							
				の民営化計画を改め、中町保育園、目黒本町保育園は直営で残すこと。		と私立保育園が一体となって、区全体の保育の質の向上に取り組んでいくことが求められます。そのための手段として引き続き、民間活力の活用・連携をさらに推進していきます。	

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理 番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応 区分	検討結果（対応策）	所管
基本目標2 人が集い活力あふれるまち							
意見なし							

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標3 健康で自分らしく暮らせるまち							
52	議会	メール	No.16	区は在宅で支援が受けられるようサービスを拡充していくという方針であるが、施設入居を望む高齢者も多く、区内ではいまだに特養ホームの入居を待機している人は500名を超えている。区民の需要に対して定員が足りていないのが現状である。区は公有地を活用して整備を行っていくという姿勢だが、待機者を解消していくためにも、積極的に施設整備計画の検討を行っていくこと。また、低年金者が入居できる整備計画にすること。	5	<p>新たな施設整備は介護給付費や介護保険料にも影響を及ぼすことになり、また、本区の地価の高さを考慮すると、一定規模の広さの土地を確保するには、国公有地に頼らざるを得ない状況です。引き続き、高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据えながら、今後も増加が見込まれる待機者への対応を検討していきます。</p> <p>東京都の特別養護老人ホーム等施設整備基本指針では、新たに整備する場合にはユニット型の整備が原則であり、特別な事情が認められる場合に限り、多床室も整備することができるとされています。駒場住宅跡地の整備計画を含め区内の特養はユニット型が4施設(定員384人)、一方で従来型施設は6施設(定員533人)となっています。そのため、利用者の生活リズムに合わせた個別ケアを行い、プライバシーを確保できるユニット型施設を整備していく方針です。ただし、居室料の負担が少ない多床室については、今後も一定数を維持していきます。</p>	健康福祉部
53	議会	書面	No.16	特別養護老人ホーム整備支援の成果指標は、令和6年4月待機者数501名からの減少を目標としているが、令和7年度には5人にひとりが後期高齢者となる状況下で設定をもっと厳しく見積もるべきではないか。	7	<p>成果指標は目標の実現に向けて政策・施策の成果を把握していくための指標として位置付けています。</p> <p>目黒区基本計画における特別養護老人ホーム入所待機者数の計画目標値は令和13年度末で300人(要介護3以上)としています。</p> <p>令和7年度から令和11年度の5年間で国家公務員宿舎駒場住宅跡地及び都営住宅目黒一丁目アパート27号棟跡地における整備計画を着実に進め、待機者数の減少を図っていきます。</p>	健康福祉部
54	議会	メール	No.16	No.16 特別養護老人ホーム整備支援 12月1日の年齢別人口を見ると、7～8年後頃に85歳以上の高齢者が大きく増えることが予想される。成果指標②として「待機者数501名からの減少」を掲げているが、不十分ではないか。	7	<p>成果指標は目標の実現に向けて政策・施策の成果を把握していくための指標として位置付けています。</p> <p>目黒区基本計画における特別養護老人ホーム入所待機者数の計画目標値は令和13年度末で300人(要介護3以上)としています。</p> <p>令和7年度から令和11年度の5年間で国家公務員宿舎</p>	健康福祉部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標3 健康で自分らしく暮らせるまち							
						駒場住宅跡地及び都営住宅目黒一丁目アパート27号棟跡地における整備計画を着実に進め、待機者数の減少を図っていきます。	
55	個人	書面	No.16、 No.17、 No.18	特別養護老人ホーム整備支援、地域密着型サービス基盤等の整備支援、障害者グループホームの整備支援は、施設を作り希望者が入所して終了でなく、在宅で介護や支援ができるシステムを作る必要がある。	3	増加が見込まれる要介護高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう介護サービスの充実を図っていくとともに、介護予防や健康づくり、生活支援サービスを充実させ、地域で高齢者を支える仕組みを構築していきます。 また、障害者計画においては、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる環境の整備を掲げています。障害者グループホームの整備促進のみならず、障害のある人が自分らしく安心して自立した生活を送るための支援に努めてまいります。	健康福祉部
56	議会	メール	No.17.18	「地域密着型サービス基盤等の整備支援」「障害者グループホームの整備支援」については、区は施設(定員)を増やしていきたいが、なかなか進まない現状があるとしている。参入事業者への支援を強化し、実態調査を十分に行いながら施設(定員)拡充に努めていくこと。また、高齢者、障がい者施設などの福祉施設は、継続して人員不足に陥っている。区としての取り組みを強めること。	2	介護保険施設の整備に当たりましては、土地賃料の減額制度がある国公有地を活用すること、また、東京都の補助制度に加え、区独自の整備費補助を行うことで、民間事業者が参入しやすい条件を整えています。昨今は建築費が高騰しているため、今後においても、建築費の状況や都の補助制度を注視し、区独自の補助額を検討していきます。 障害者グループホームについては障害のある人及びその家族の高齢化に伴い、今後ますます需要が増加することが見込まれる一方、都心区において適した土地の確保が困難であることや昨今の建築資材の高騰に伴い、施設整備が十分に進んでおらず、区としても喫緊の課題であると認識しています。今後は公有地の活用のみならず、空き家等の積極的な利活用に向けて、土地・建物所有者と障害者グループホーム運営事業者のマッチングについても区が行うなど、着実に整備を進めてまいります。 福祉人材の不足につきましては、福祉のしごと相談会等を通じて、新たな人材確保に向けて福祉の仕事の魅力を発信してまいります。また、定期的な事業者へのヒアリングや	健康福祉部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標3 健康で自分らしく暮らせるまち							
						既存事業の効果検証を行っていきます。離職を防ぐための人材定着についても、実態把握に努めながら有効な取組について引き続き検討してまいります。	
57	団体	専用フォーム	No.18	<p>令和7年度、令和9年度にそれぞれ民間障害者グループホームの整備等1か所とありますが、「すべての障害のある人が必要な支援を受けながら、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、」という事業概要を考慮すると、3年間で2か所の整備では知的障害者のグループホームは全く足りずに、親亡き後に暮らす場がなくなってしまうケースが少なからず出てくることと予想されます。そのようなケースを防ぐためにも、グループホームの整備目標数を増やしてほしい。</p> <p>現在、都の補助制度を活用する民間事業者には2千万円の区独自の整備費補助には感謝しているが、建設費用(資材、人件費等)の高騰により、補助が十分とはいええず、新たな整備が大変困難になっている。また、グループホームの運営にあたっては、諸物価の値上げに準じて、家賃(含水光熱費)を値上げすることも出来ず、運営が非常に厳しくなっている。整備費補助、運営費に係る補助の増額をお願いしたい。</p>	3	<p>障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくための住まいとして重要な役割を担う障害者グループホームについては、障害のある人及びその家族の高齢化に伴い、今後ますます需要が増加することが見込まれる一方、都心区において適した土地の確保が困難であることや昨今の建築資材の高騰に伴い、施設整備が十分に進んでおらず、区としても喫緊の課題であると認識しています。今後は公有地の活用のみならず、空き家等の積極的な利活用に向けて、土地・建物所有者と障害者グループホーム運営事業者のマッチングについても区が行うなど、着実に整備を進めてまいります。</p> <p>また、整備費補助については令和5年度に補助上限額の見直しを行ったところではありますが、近年の急激な物価高騰等も踏まえ、整備費及び運営費ともに適切な支援策が講じられるよう、実態の把握に努めてまいります。</p>	健康福祉部
58	議会	書面	No.18	<p>障害者グループホームの整備支援については、様々な整備手法を活用し、積極的に整備を進めていくこと。</p>	3	<p>障害者グループホームの整備に当たっては施設整備に適した土地の確保が大きな課題となりますが、面積の大小を問わず、整備可能な公有地がある場合は最大限に活用していくとともに、今後は空き家等の積極的な利活用に向けて、土地・建物所有者と障害者グループホーム運営事業者のマッチングについても区が行うなど、着実に整備を進めてまいります。</p>	健康福祉部
59	個人	専用フォーム		<p>高齢者が安心して住めるような、町作りをお願いしたい。</p>	3	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して可能な限り自立した生活を送れるよう、社会状況の変化や高齢者のニーズを的確にとらえて、介護予防や健康づくり、生活支援のサービスを充実させ、地域で高齢者を支える仕組みを構築してい</p>	健康福祉部 都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標3 健康で自分らしく暮らせるまち							
						<p>きます。また、介護を必要とする高齢者が介護サービス等を利用しながら住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、介護サービスの充実を図っていきます。</p> <p>目黒区都市計画マスタープラン(令和5(2023)4月改定)では、分野横断的にまちづくりに取り組むべき施策として「多様な人々が暮らしやすいまちづくり」を掲げ、目黒区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想に基づき、歩行空間のネットワーク化や安全な歩行空間の確保、駅や公園等のバリアフリー化などの取組を進めています。実施計画においても「経路のバリアフリー化」として歩道改良や歩道舗装の改良を位置付け計画的に進めるとともに、引続きバリアフリー基本構想の進捗管理を徹底し、だれもが利用しやすい施設整備や取組を行います。</p>	
60	個人	専用フォーム		目黒区内には、公的な高齢者施設も、障害者施設も、まだまだ足りないと思う。福祉の充実を施設面でも求める。	2	<p>本区では令和元年度から3年度の間、特別養護老人ホームを3か所整備し、定員が300人増加しました。また、現在、国家公務員宿舎駒場住宅跡地及び都営住宅目黒一丁目アパート27号棟跡地において特別養護老人ホーム等整備計画を進めています。</p> <p>本区は地価が高いことから、施設整備に当たっては国公有地の活用に頼らざるを得ない状況です。引き続き、国公有地の活用の可能性などを情報収集するとともに、高齢者人口の推移や特別養護老人ホーム入所待機者数の状況、在宅サービスとのバランスを考慮しつつ、整備の検討を進めていきます。</p> <p>また、障害者計画においては、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる環境の整備を掲げています。障害者グループホームの整備に当たっては土地の確保が大きな課題ですが、面積の大小を問わず、整備可能な公有地がある場合は最大限に活用していくとともに、今後は空き家等の積極的な利活用に向けて、土地・建物所有者と障害者</p>	健康福祉部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理 番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応 区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標3 健康で自分らしく暮らせるまち							
						グループホーム運営事業者のマッチングについても区が行うなど、着実に整備を進めてまいります。	

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
61	個人	専用フォーム	No.20	<No.20 学芸大学駅周辺地区の整備> 高架下リニューアルに伴い、駅周辺の人の流れが変化してきている。それに伴った施策、例えば禁煙区域を広げる、立ち飲み禁止区域を設けるなどお願いしたい。	6 4	学芸大学駅周辺地区懇談会の中で、地域での課題を取り上げ、地域住民が主体となったまちづくりを今後も取り組んでいきます。 また、現在、区内全域の路上喫煙・歩行喫煙禁止に向けた検討を進めています。	都市整備部 環境清掃部
62	個人	専用フォーム	No.20	学芸大学付近は大規模な再開発をせずに、いまの街の雰囲気を残してほしい。	4	学芸大学駅周辺地区では、地域の皆様の意見をお聞きしながら、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりを進めていくため、平成20年度に学芸大学駅周辺地区整備計画を策定し、「にぎわう商店街、オアシス碑文谷公園、閑静な住宅地の広がり、生活を大切にする 安全・安心なまち」を目標に掲げ、住民主体のまちづくりに取り組んでおります。引き続き、地域の皆様と学芸大学駅周辺地区のまちづくりに取り組んでいきます。	都市整備部
63	個人	書面	No.21	なぜ自由が丘のみに多額の事業費をかけるのか？どの街にも公平に、バリアフリー化に事業費をかけるべきだ。	3	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。 そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。また、この面的整備は自由が丘駅周辺のバリアフリー化の促進にも寄与するものです。 事業費については、国や都の補助制度を積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら事業を進めて参ります。	街づくり推進部
64	個人	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の開発は、老朽化した建物の更新や細街路の解消など都市機能の更新であり、大いに期待が持てる。緑豊かな歩行空間の創出などウォークアブルな都市機能が実現できる点を評価する。	2	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっ	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						<p>ています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでまいります。さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
65	個人	書面	No.21	<p>自由が丘東地区再開発地域の権利者としては再開発事業そのものへの期待と同時に、準備段階である現地点での最大の課題は補償費なので、その財源とも言える補助金を受けられるよう、早急に都市計画事業の決定を受け、権利者を安心させてほしい。</p>	2	<p>自由が丘東地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。</p> <p>市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
66	個人	書面	No.21	<p>東地区(自由が丘)の街づくりに期待している。自由が丘(東地区内)には古い建物が密集する地域があるほか消防・救急車が巡回しなければたどりつけない地域があるため防災面、街づくりを積極的に進めてほしい。地域全体の安全面の向上にも期待している。</p>	2	<p>自由が丘東地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。</p> <p>また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	
67	個人	書面	No.21	国や都の補助金を活用した再開発により、歩行者優先の道路整備やバリアフリー化を進め誰もが快適に利用できる街作りを実現してほしい。補助金の後押しを、よろしく願いたい。	2	<p>自由が丘東地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。</p> <p>自由が丘東地区市街地再開発準備組合より「人中心のウォークアブルなまちづくりを継続して検討していく取組として、駅から周辺地域までバリアフリーでシームレスに繋げ、安心・安全・快適な歩行者ネットワークを形成すると共に、地上にゆとりのある空間を確保して地域住民や来街者の憩いや交流活動による、にぎわいある街並みを創出することを検討していく」と報告を受けております。</p> <p>また、市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
68	個人	書面	No.21	エネルギー効率の良い建築物やエコシステム導入など環境負荷を軽減し将来世代にとって持続可能な地域社会を構築してほしい。権利者と行政で力を合せて再開発を進めていただきたい。	2	自由が丘東地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。自由が丘東地区市街地再開発準備組合より「都市環境への配慮として、高効率の設備機器の導入や熱負荷の低減に配慮した外装計画の採用などにより、建物の省エネルギー化やエネルギー利用の効率化が図れないかを検討していく」と報告を受けております。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
69	個人	書面	No.21	自由が丘は時代に遅れてはいけない。自由が丘に住みたいランキング数年前はでは3～4番目だった。現在は40代番目になっている。取り残されてしまわないか心配である。さらに住みやすく人が集まるような自由が丘の街づくりを進めていただきたい。	2	自由が丘東地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。 自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。 そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。 さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
70	個人	書面	No.21	駅周辺は道路がせまく、車と自転車等が行き交うときに非常に危なく感じている。国や都の補助金を活用した再開発により、歩行者優先の道路整備やバリアフリー化を進め、誰もが快適に利用できる「歩いて楽しい自由が	2	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっ	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				丘の街」を実現してほしい。行政の支援はとても大切なので補助金の後押しをよろしく願います。		<p>ています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>また、市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
71	個人	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、計画どおりに進み、よりよい街になってほしい。補助金も、よい計画にはどんどん使ってほしい。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩い</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						<p>の空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。また、市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
72	個人	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて是非、前向きに補助金を使ってほしい。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>また、市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化してい</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						くものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	
73	個人	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、環境を意識した再開発であることは理解しているが、商業的な部分もフォーカスして取組んで欲しい。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
74	個人	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、防災面も含んで、駅前再開発は必要な事業であると思料している。是非とも円滑な事業計画の進捗にご協力・ご理解をお願い致したい。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						<p>鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
75	個人	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、早く進めてほしい。防災面を考慮した街づくりを進めてほしい。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
76	個人	専用フォーム	No.21	自由が丘に毎日通勤しているが、補助127号線やその他の細街路では、歩行者の通行量が多いにもかかわらず、自動車やバスの通行も多く、危険だと感じる場面が非常に多い。特に小さな子どもや聴力が悪い高齢者等にとっては、より命の危険にもつながりかねない。早期に	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				都市計画道路の整備に向けた施策を進めて、安全な歩行者空間を実現していただきたい。		そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	
77	個人	専用フォーム	No.21	目黒区の主要駅前において、基盤整備、特に都市計画道路整備による市街地環境の改善が将来のまちづくりや課題解決に向けた重要な取組であると考えられ、安全・安心で快適な街並みが創られることで、まちの活性化だけでなく防災・防犯の向上に寄与すると考える。 従って、民間活力や地域と連携し、まちづくりの第一歩として基盤整備を押し進めていただきたい。	2	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。 また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。 そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
78	個人	専用フォーム	No.21	自由が丘周辺においては各地区で再開発の機運が高まっているものの、都市計画道路が未整備の為、開発を受け止める基盤が整っておらず、今後の事業推進に大きく影響を及ぼすことが懸念される。“まちづくり”の効果を最大限に発揮すべく、基盤整備を効率的に推進していただくことを期待する。	2	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。 そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
79	個人	専用フォーム	No.21	都市計画道路沿道周辺のみちづくりにおいて、公民連携で再開発事業を通じたまちの更新を図り、エリアの様々な課題解決を担うことで、区内4つの広域生活拠点のうちの1つ及び区内最大の商業地域に相応しい自由が丘への発展を願ってやまない。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
80	個人	専用フォーム	No.21	目黒区実施計画改定素案の基本目標4「快適で暮らしやすい持続可能なまち」の項目に、自由が丘駅周辺地区の街づくりを公民連携により推進することが掲げられている。駅前では既に再開発ビルの工事が始まっており、道路と歩行者空間の狭さの解消や、ヒートアイランドの解消につながる都市空間の緑化等をさらに進めていただきたい。	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。</p> <p>また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						<p>また、現在再開発を検討中の自由が丘東地区市街地再開発準備組合では、「事業により創出するオープンスペースの緑化や建物屋上部などを活用した立体的な緑化が図れないかを検討していく」と報告を受けております。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
81	団体	書面	No.21	<p>市街地再開発事業は、権利者の生活再建を維持し、まちの防災性や回遊性の向上が実現できるよい方法であるが、目黒区から支援を受けなければ実現できない。当地区は、現在、市街地再開発事業を推進中であり、新再開発ビルの建設工事中である。目黒区には当地区の再開発事業を最後までしっかりと支えて頂きたい。自由が丘駅周辺地区の街づくりにおいて、リーディングプロジェクトである当地区が予定どおりに完成し、街に活性化を促し、にぎわいを創出することが、自由が丘未来ビジョン及び自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想の第一歩である。当地区をはじめ、自由が丘駅周辺地区の街づくりを支えて頂ける実施計画改定素案を評価する。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
82	団体	書面	No.21	<p>自由ヶ丘では、長年、地元が主体となり回遊性のある街を形成し「自由が丘」ブランドを作り上げてきた。しかしながら、近年、建物の老朽化、歩道空間の未整備等の為、街の魅力が低迷しつつある。</p> <p>このような状況下において、今、自由が丘らしく「地元発意」による市街地再開発事業が3地区で進みつつあ</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづ</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				<p>る。</p> <p>今回の改定素案では、「国や都の補助制度等を活用しながら地域のまちづくりを支援する。」と明記されており、「地元発意」の街づくりに対して行政の支援体制を整えて頂けたことは大変評価できる。</p> <p>区の事業費が下支えとなり、「地元発意」の街づくりが実現できる。</p>		<p>くりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
83	団体	書面	No.21	<p>自由が丘の街は、老朽化した建物が多く、街としての魅力を徐々に失いつつある。自由が丘を魅力的な街へと再生させる施策が重要であり、目黒区の支援が必要である。実施計画改定素案には、目黒区の支援が明確に提示されており評価する。自由が丘で生まれ育ち、家業を承継した者として、子供たちの時代に向けて自由が丘が魅力的な街であり続けることを望む。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行障害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
84	団体	書面	No.21	<p>自由が丘には古い建物が密集する地域があるほか、消防・救急車が迂回しなければ、たどりつけない地域もあるため、防災面を考慮した街づくりを積極的に進めてほしい。</p> <p>また、災害時の避難拠点や防災設備の設置が進めることによる地域全体の安全面の向上にも期待している。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
85	団体	書面	No.21	<p>自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、本件に賛成する。理由として①道路幅が狭く車の通行で歩行者が危ない②違反建築が多く火災や震災等があった時に人命危機や火災の延焼が心配③近年の異常気象によるゲリラ豪雨による浸水が見受けられる④美観街全体が暗く特に深夜の治安が心配⑤駅前なのにパツとしない以上となる。自由が丘の街(特に美観街)のさらなる発展と治安向上、防災機能改善になるよう迅速な再開発完了をお願いしたい。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩い</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						<p>の空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組めます。</p>	
86	団体	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、事業費、一般財源は適当かどうかは分からないが、鉄道沿線、立体交差化が含まれているか、充分か、自由が丘東地区市街地再開発と同時に東横線大井町線の踏切解消検討してほしい	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>また、市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。</p> <p>区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。また、東急大井町線と東横線の踏切や低い架道橋の解消を目指し、隣接する世田谷区とも行政間の連携を取りながら、調査・検討を進めております。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	
87	団体	書面	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりについて、当該地区の再開発については、十年以上検討が続いている。その間にも建物の老朽化は進み、災害等に対する安全性の不安も増すばかりである。これまで地区内で検討を続けた結果をもとに一刻も早い再開発を希望する。よろしく願います。	2	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。 また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。 そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。 区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
88	団体	専用フォーム	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりにおいては、まちづくり活動への継続的な支援と、工事費高騰等で厳しい事業環境の中、市街地再開発事業支援として事業成立に必要な補助金額を確実に交付していただきたい。	2	自由が丘駅周辺地区のまちづくりのとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。市街地再開発事業では、各法令に基づき、関連する都市計画や事業計画等において、事業内容の検討の深度化に合わせて、具体的な内容を定めることとなっており、補助金については、それらの各段階において具体化していくものと考えております。 この補助金など事業費については、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
89	団体	FAX	No.21	自由が丘駅周辺地区の街づくりに、事業費約226億円を計上していただいたことは感謝している。 自由が丘の長年にわたる懸案事項であった127号線	2	自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				<p>整備、鉄道連続立体を含む、沿線まちづくりに対しては、事業概要にもあるように『公民連携』により、力強く推進しないといけないと思っている。</p> <p>背筋が伸びる思いである。今回計上して頂いた予算が、自由が丘の為、目黒区の為、実り多いものとなるように邁進していく。</p>		<p>歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	
90	団体	FAX	No.21	<p>自由が丘駅周辺地区の街づくりに、事業費約226億円を計上していただいたことは感謝している。自由が丘の長年にわたる懸案事項であった127号線整備、鉄道連続立体を含む、沿線まちづくりに対しては、事業概要にもあるように『公民連携』により、力強く推進しないといけないと思っている。背筋が伸びる思いである。今回計上して頂いた予算が、自由が丘の為、目黒区の為、実り多いものとなるように邁進していく。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
91	団体	FAX	No.21	<p>自由が丘駅周辺地区の街づくりに、事業費約226億円を計上していただいたことは感謝している。</p> <p>自由が丘の長年にわたる懸案事項であった127号線整備、鉄道連続立体を含む、沿線まちづくりに対しては、事業概要にもあるように『公民連携』により、力強く推進しないといけないと思っている。</p> <p>背筋が伸びる思いである。今回計上して頂いた予算が、自由が丘の為、目黒区の為、実り多いものとなるように邁進していく。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。</p> <p>そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
92	団体	FAX	No.21	<p>自由が丘駅周辺地区の街づくりに、事業費約226億円を計上していただいたことは感謝している。自由が丘の長年にわたる懸案事項であった127号線整備、鉄道連続立体を含む、沿線まちづくりに対しては、事業概要にもあるように『公民連携』により、力強く推進しないといけないと思っている。背筋が伸びる思いである。今回計上して頂いた予算が、自由が丘の為、目黒区の為、実り多いものとなるように邁進していく。</p>	2	<p>自由が丘駅周辺地区では、道路などの基盤が未整備であることから、老朽建物の更新が進まず、防災性の低下が課題となっています。また、鉄道の踏切や低い架道橋による歩行者の回遊性の低下や緊急車両の通行阻害も課題となっています。そこで、都市計画道路の拡幅整備と一体的な沿道まちづくりを基軸として、市街地再開発事業による基盤整備や老朽建物の更新といった面的整備とともに、道路と鉄道の立体化に向けた調査・検討など、都市の更新に向けたまちづくりに取り組んでいます。さらに、市街地再開発事業等によって整備される道路や広場といった公共的空間について、地域のイベントや憩いの空間としての利活用を目指し、公民連携による「自由が丘エリアプラットフォーム」を設立するなど、居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりに取り組んでいます。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	
93	議会	メール	No.21.22	<p>自由が丘駅周辺地区の街づくり、中目黒駅周辺の街づくりの大型再開発事業は以下の理由から凍結、見直し、中止を判断し、災害に強い修復型のまちづくりに特化した計画に変更すること。①建設資材の高騰、建設業の人材不足・倒産増などで、現在、各地の大型再開発事業が計画どおり進まない状況にある。②区が示している中期経営指針の将来の財政予測でも今後、大型再開発事業が財政調整基金の残高を引き下げる要因の一つと分析している。また、このたび区が作成した財政計画素案は、より具体的に積立基金残高の減少と特別区債残高の増加を試算し2030年度には特別区債残高が積立基金残高を上回る見込みだとしている。③東日本大震災の時には、首都圏の超高層ビルや震源地から離れた大阪でも超高層ビルでは長い揺れが続き、エレベーターの停止や閉じ込めがあった。このような長周期地震動の影響が超高層ビルにはついて回る。超高層ビルは大地震に弱いことが証明されている。④超高層ビルでは当初の予想を大きく上回る、生活環境をおびやかす風害が発生する。特に北風の吹く冬場は剥離流となった風が住宅にまで影響を及ぼし、安心安全な住環境を奪われ続けている実態がある。⑤建築資材の確保の遅れ、人材不足などの影響は、事業計画の延伸などにもつながり、そのために、再開発準備組合に参加している地権者が、大手の地権者やデベロッパーの意向に振り回され、将来の生活設計ができないといった状況がある。⑥大型再開発により建てられた超高層ビルを建て直す場合、デベロッパーは今の倍以上の高さを建てなければ採算が合わないと言われている。今ある高さの倍以上の超高層ビルの建設は非現実的であり、50年後100年後を考えた街づくりとは言えない。ま</p>	5	<p>目黒区として、区民や来街者の安全・安心なまちづくりに取り組む事が責務であり、特に、道路など都市基盤の整備や老朽建物の更新といった、首都直下地震などへの対応を踏まえたまちづくりに取り組む必要があります。また、近年では、気候変動に伴うゲリラ豪雨など、多様化する都市型災害に備える必要もあります。さらに、防災性の向上に向けた安全・安心なまちづくりのみならず、平時においても、多くの来街者が訪れる自由が丘駅や中目黒駅周辺地区では、歩行者の安全性や回遊性の向上、みどりや広場など憩いの空間の整備など、商業の活性化や地域コミュニティの醸成に向けたまちづくりが求められています。</p> <p>こうした課題の解決には、市街地再開発事業が有効な手法であり、地震発生時の避難路や一時滞在施設の確保、延焼の遮断、建物の倒壊を防ぐとともに、ゲリラ豪雨対策として敷地内に雨水流出抑制施設の設置など様々な効果が期待できるものです。そのため、区は、自由が丘駅や中目黒駅周辺の各地区における区民を主体とした市街地再開発組合と連携を取りながら、街の課題解決に取り組んでいます。自由が丘駅及び中目黒駅周辺地区における市街地再開発事業については、都市再開発法第二条の二第一項の規定に基づく第一種市街地再開発事業であるため、事業の実施主体につきましては、地区内権利者を中心とした民間の再開発組合となります。</p> <p>区の役割としましては、再開発組合への指導・助言のほか、市街地再開発事業の都市計画決定などの法定手続きや、補助金の適正かつ適法な交付を行うことです。主な補助金としましては、市街地再開発事業により整備される道路など公共施設に要する費用のほか、老朽建物の共同化による不燃化や耐震化、緑化・広場・通路などを一体的かつ</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				た、超高層ビルを解体する場合には巨額の費用がかかり、多くのCO ₂ を排出し、環境にも悪影響を及ぼす。ゼロカーボンシティ宣言をしている本区の姿勢とも反する。		総合的に整備し、安全で快適な都市環境を創造するなど公共貢献に要する費用として、組合側に交付いたします。この補助金の交付については、様々な社会情勢による建設費の高騰などを要因として、市街地再開発事業の事業費が増加傾向にある事を踏まえ、国や都の補助制度を積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら事業を進めています。 区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。	
94	個人	専用フォーム	No.22	再開発事業において、中目黒駅北側(代官山側)に改札口を設置してほしい。	6	中目黒駅周辺地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。中目黒駅北側(代官山側)に改札口を設置することに関しましては、鉄道事業者から「駅のホーム階において、朝夕のラッシュ時に更なる混雑が発生する可能性があり、乗客の安全性を担保できないため、北側改札口の新設は困難である」と回答を受けております。 一方、中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合から「人中心のウォーカブルなまちづくりを検討していくことで、特に地上にゆとりのある滞留空間を確保するなど、桜の開花期間中の混雑緩和に貢献できないかを検討していく」と報告を受けております。区は引き続き、市街地再開発準備組合と連携を取りながら、街の課題解決に取り組んでまいります。	街づくり推進部
95	個人	専用フォーム	No.22	目黒川の桜の景観はとても素晴らしいが、人も多いため、市街地再開発事業の中で、駅付近に人の滞留空間ができる事を期待する。	2	中目黒駅周辺地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。 中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合から「人中心のウォーカブルなまちづくりを検討していくことで、特に地上にゆとりのある滞留空間を確保するなど、桜の開花期間中の混雑緩和に貢献できないかを検討していく」と報告を受けております。	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	
96	個人	専用フォーム	No.22	実施計画の中に、市街地再開発事業支援や中目黒駅周辺地区整備計画という予算項目を見込んでいただき、大変ありがたく思っている。 今後とも官民連携による「快適で暮らしやすい持続可能なまち」を早く実現できることを願っている。	2	中目黒駅周辺地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援や中目黒駅周辺地区整備計画に基づくまちづくり活動に、公民連携で取り組んでいます。 このまちづくりの推進には、区の長期的な財政状況も見据えつつ、国や都の補助制度なども積極的に活用し、公民連携を軸とした財政負担の軽減を図りながら取組を進めていく必要があります。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
97	個人	書面	No.22	緑豊かな空間の中に、多世代の日常生活の基盤となり、核となる物が出来る事を期待している。一日も早く完成してほしい。	2	中目黒駅周辺地区の街づくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合より「人中心のウォークアブルな街づくりを検討していくことで、特に地上にゆとりのある空間を確保するなど、みどり豊かな滞留空間の創出のほか、桜の開花期間中の混雑緩和に貢献できないかを検討していく」と報告を受けております。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
98	個人	書面	No.22	目黒川沿いの桜満開時の景観は素晴らしく年々海外からの観光客も増えているので再開発事業の中で美しい桜と調和する滞留空間の創出を期待している。	2	中目黒駅周辺地区の街づくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。 中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合より「人中心のウォークアブルな街づくりを検討していくことで、特に地上にゆとりのある空間を確保するなど、みどり豊かな滞留空間の創出のほか、桜の開花期間中の混雑緩和に貢献できないかを検討していく」と報告を受けております。 ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
99	団体	書面	No.22	目黒区は都心でも郊外でもなく交通至便で良い住環境を保っている希少な環境である。この良好な住環境をこ	5	市街地再開発事業を施行する事は、細分化された宅地の統合、不燃化や耐震化された共同建築物の整備をはじめ、	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				<p>れ以上破壊することを決して許してはならない。</p> <p>人口減少を見据えた街づくり、何十年か先の職員が当時の都市計画の決定は東京都の異常な再開発に相乗りせず、先見性のある都市計画決定だった、総合設計は認めなかったというものにすべきだ。</p> <p>中目黒駅前北地区再開発事業の計画は既存目黒区内再開発事業、その他事業と比較して敷地面積が60%以下であるにもかかわらず敷地面積に占める建築面積の割合が高く公開空地は非常に狭く都市整備に寄与するものではない。容積率割増は極めて異常であり延べ床面積、高さともに大幅な縮小が必要である。</p>		<p>緑地・広場・通路といった公共施設の整備を一体的かつ総合的に行い、安全で快適な都市環境を創造するなど、様々な効果が期待でき、災害に強いまちづくりに資するものです。</p> <p>中目黒駅周辺地区における市街地再開発事業については、都市再開発法第二条の二第一項の規定に基づく第一種市街地再開発事業であるため、事業の実施主体につきましては、地区内権利者を中心とした民間の再開発組合となります。</p> <p>区の役割としましては、再開発組合への指導・助言のほか、市街地再開発事業の都市計画決定などの法定手続きや、補助金の適正かつ適法な交付を行うことです。</p> <p>区は安全・安心で魅力ある街の実現に向けて、災害に強いまちづくりに資する市街地再開発事業を公民連携で推進してまいります。</p>	
100	団体	専用フォーム	No.22	<p>中目黒と言えば春の目黒川沿いの桜の開花が見事である。市街地再開発事業として、ゆっくりと桜の開花を楽しめる空間の創出や、目黒川沿いでゆっくりと休める広場なりがあると豊かな気持ちになれるので、そのようなまちづくりを期待する。</p>	2	<p>中目黒駅周辺地区のまちづくりとして、区は市街地再開発事業の支援に取り組んでいます。中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合より「人中心のウォークアブルな街づくりを検討していくことで、特に地上にゆとりのある空間を確保するなど、みどり豊かな滞留空間の創出のほか、桜の開花期間中の混雑緩和に貢献できないかを検討していく」と報告を受けております。</p> <p>ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。</p>	街づくり推進部
101	議会	メール	No.23	<p>達成目的の中に「豊かな地域資源や拠点をめぐり歩きたくなるような」とあるが、地域から行人坂は歩道が狭いため、通勤通学時には車道にも人があふれて危ないという声がある。歩行空間の確保と積雪時には車はもとより歩行者も危険であるため、安全に通行できる対策をおこなうこと。</p>	3	<p>行人坂については、令和4年12月に都市計画決定した「下目黒一丁目地区地区計画」において、地区全体で安全な歩行環境を確保するため、壁面の位置を制限し、建て替えの際に道路境界線から0.5m以上空間を設けていただく仕組みをルール化いたしました。区は、街全体が少しでも安全・快適な歩行環境になるよう、地区計画に基づいたまちづくりを推進してまいります。</p>	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
102	議会	メール	No.25	No.25 地域交通の支援の推進 地域交通バスの利用率や収支率によって実証実験運航継続可否の評価を行うという従来の方針に変わりはないか。また、公共交通機関としては地域交通バス以外の選択肢もあるが、状況によっては検討すべき。必ずしも計画ありきではなく、柔軟な対応を求めたい。	2	実証実験運行継続の判断については、利用率、収支率、満足度の3つの指標にて評価を行うことに変更はありません。また、地域交通バス以外の選択肢については、地域の状況に応じて、車両や運行形態の検討など柔軟に対応していきます。	街づくり推進部
103	議会	書面	No.25	実施計画改定素案P32.「地域交通の支援の推進」 地域交通については、現在、実証実験運行が行われている東部地区、3つの検討組織が立ち上がっている北部地区だけに限ったことではない。区全体としても「公共ライドシェア」など、新たな地域交通についての検討もしっかり記載して取り組むべきと考えるが如何か、見解を伺う。	3	地域交通については、「目黒区地域交通の支援方針」に基づき、地域の要望にあわせ、導入に向けた検討の支援を進めます。 「公共ライドシェア」については、他自治体の例などの調査研究を進めるとともに、区全体の新たな地域公共交通の運行形態の一つとして検討を進めていきます。	街づくり推進部
104	個人	専用フォーム	No.26	<No.26 公園リノベーション事業> 「民間活力の活用」とあるが、碑文谷公園のPFIは近隣の反対意見も多く難しいと思う。まずは、行列のできるケーキ屋さん、子どもの多く集まるスポーツ施設などと一緒に、中央緑地公園からPFIに取り組むのはいかがか。	4	Park-PFIは、公園における公民連携の手法の一つです。公園の効率的で効果的な運営を模索する中で、現在は、碑文谷公園において、公民連携による持続可能な施設運営を検討しているところです。 その他の公園においても、各公園の課題や特性等を把握したうえで、引き続き、公民連携による持続可能な施設運営について検討していきます。	都市整備部
105	議会	メール	No.26	公園リノベーション事業では、立会川、呑川遊歩道、蛇崩川緑道に歩行者が休憩できるベンチ等を増やすこと。また、呑川遊歩道では岩や木の根が隆起している箇所があり、転んでけがをしたりする事故が増えている。蛇崩川緑道や立会川緑道はインターロッキングがずれることで段差が生まれ、段差につまずき怪我をする人も出ている。定期的に遊歩道の段差の点検を行い、安全な歩道空間を確保すること。	2	緑道の全体的な改修は、公園施設長寿命化計画での評価や毎年実施している施設点検の結果等を総合的に判断し、適切な時期に実施計画へ位置づけ、バリアフリー化や舗装の不陸解消等を行い、安全な歩行空間の確保に取り組んでいます。また、園路の凹凸解消などの部分補修は、日常の維持管理の中で対応しています。 なお、ベンチの増設については、緑道の改修にあわせて周辺住民の意向を踏まえて検討していきます。	都市整備部
106	議会	メール	No.27	地球温暖化から地球沸騰化の時代となり、CO2を確実に削減できる樹冠被覆率をあげることが求められている。樹冠は体感温度や暑さ指数を下げ、ヒートアイラン	4	街路樹など新たに高木を植える場所が限られている本区においては、既存樹木及び樹木の保全のほか、区民に親し	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				ド対策、生物多様性の保全も期待できることから、樹冠被覆率の目標を設定し高めること。また、生垣助成について今の住宅事情に合わせ、条件の緩和を行うこと。		まれるまちなみのみどり、草地の保全と創出、屋上や壁面への緑化促進などが必要であると考えています。 そのため、現在改定作業中のみどりの基本計画では、これら多様なみどりを保全・創出する施策を総合的に推進する方向で検討を進めており、樹冠被覆率の目標を策定し、引き上げることにつきましては、こうした区の緑化施策のあり方を踏まえて考えていません。生垣助成の施策のあり方については、みどりの基本計画改定の中で検討していきます。	
107	個人	専用フォーム	No.28	目黒区内にある遊歩道桜並木の景観と保全はとても意義あることと思うが、都内でも珍しい八重桜が連なる遊歩道だったのに、ソメイヨシノに駆逐され、次は同種の桜に植え替えられるとのこと。ソメイヨシノが寿命を迎えた昨今を好気として、昔、江戸時代に各種の桜を植え、その景色は五色の桜が雲なし格別なものだったと言う。それに倣い、いく種もの八重桜や枝垂れ桜を並木に追加してもらいたい。 ・都内でもそのような桜並木は珍しいので、後世を考え良い観光資源となる ・江戸時代の桜景観の再現することにより、江戸時代文化を感じ学ぶ機会となる ・都内でも特色ある桜景観を持つ区となる ぜひ、種類の違う八重桜や枝垂れを取り入れ検討願う。	2	めぐろサクラ再生プロジェクトは、樹木診断、サクラ再生実行計画の策定、桜の保全・植替えの3つ取組を柱として進めています。 サクラ再生実行計画では、桜の多い街路や緑道、公園を対象に、それぞれの地域に合った桜の将来像を検討し、保全方法や植え替える品種の選定などについて、地域の方々のご意見や専門家の見識を取り入れながら策定しています。この計画では、ご意見にある八重桜・枝垂れ桜を植え替え品種に含んでいる場所もあります。 今後も引き続き、目黒の桜の風景を後世へ伝えていくため、めぐろサクラ再生プロジェクトに取り組んでいきます。	都市整備部
108	議会	書面	No.28	めぐろサクラ再生プロジェクトを推進していくうえで、樹木の植え替え時期はサクラ開花時期等を踏まえて適切な時期に実施すること。	2	倒木の恐れのある桜を伐採した後の植え替え作業は、植物に負担がかかる夏を過ぎた時期を選んで実施しています。	都市整備部
109	個人	専用フォーム	No.29	生物多様性の条例に沿った区政を求める。	2	平成26年3月に目黒区生物多様性地域戦略を策定し、生物多様性の確保に向けて区民参加型生物調査や生物多様	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						性保全林事業を実施計画に位置付け取組を進めています。今後も継続して本事業を進めていきます。	
110	議会	メール	No.29	地球温暖化防止対策として生物の多様性の保全、確保は大変重要であるが、パークPFI事業とは相いれない。目黒区内の固有の生物多様性の保全、確保をすることは後世に貴重な生き物を残すため、生物多様性の確保を優先し、パークPFIは導入しないこと。	5	<p>Park-PFIは、公園における公民連携の手法の一つです。公園の効率的で効果的な運営を模索する中で、現在は、碑文谷公園において、公民連携による持続可能な施設運営を検討しているところです。</p> <p>その他の公園においても、公民連携を進めるにあたっては、公園の豊かな自然環境や周辺の良い住環境に配慮し、地域や公園利用者の理解や協力を得ながら、最適な手法を活用して進めていきます。</p>	都市整備部
111	団体	メール	No.30	(区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範) (太陽光パネルの設置) すべての区有施設について、太陽光発電所の設置が可能な既存区有施設を洗い出すために、耐震性と設置可能量について調査するとともに、可能な区有施設については速やかに設置すること。	3	太陽光発電設備の設置につきましては、新築・改築・大規模改修工事において検討することとしております。これまで、既存施設に関しては、耐荷重等、構造上の問題があり、設置を見送らざるを得ない状況でありましたが、企業や大学等で様々な手法の実証実験が進んでおり、設置に向けた情報収集を行っております。なお、令和7年度当初予算案において、既存区有施設へ太陽光発電システム及び蓄電システムを効果的に設置することを目的とした調査経費を計上しております。	環境清掃部
112	団体	メール	No.30	(区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範) (電力購入の契約変更) 区有施設の再エネ由来電力購入については、2025年度中に100%となるよう前倒しすること。	3	<p>再エネ電力の導入につきましては、電力契約に環境価値が上乗せされることから、一般的に導入コストが高くなる課題があります。</p> <p>また、目黒区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)である「めぐろエコプラン3」において、非化石燃料由来電力の導入数値目標を令和12年度末時点で区有施設が使用する電力の90%以上とすることとしております。令和6年度末時点では、区有施設が使用する電力の55%に再エネ電力が導入される見込みであり、今後も本計画に沿って再エネ電力を順次導入してまいります。</p>	環境清掃部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
113	団体	メール	No.31	(太陽光パネル設置による再エネ) 目黒区は、戸建て住宅が多く、屋根に太陽光発電所を設置する潜在的なポテンシャルは大きい。これまで実施してきた太陽光発電設備補助関連予算を、2030年カーボンハーフにふさわしい目標値を設定し、その実現に向け、都の補助金効果をさらに促進する形で、抜本的に増額すること。蓄電池への補助上限を増額すること。	4	再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費助成事業は、区民の要望を受け、令和4年度より段階的に予算を増額してまいりました。目標値につきましては、現行予算の範囲内で助成可能な件数を考慮し、計画最終年度である令和11年度において累計3,900件と設定しております。今後の事業展開につきましては、利用実績や東京都・他自治体の動向、利用者アンケートの意見などを踏まえながら、柔軟に検討してまいります	環境清掃部
114	団体	メール	No.31	(建物断熱化による省エネ) 2024年度から既存住宅への断熱改修等への助成が20万円に倍増された。国、都の補助金効果をさらに促進する形で、2030年カーボンハーフにふさわしい目標値を設定し、その実現に向け、一般リフォームとは切り離れた制度の枠組みを作り、さらに抜本的に強化すること。	3	省エネルギーフォームと一般リフォームとは分けて実施しており、住宅の断熱等を進めていくため、多くの世帯が利用することができるよう検討していきます。	都市整備部
115	団体	メール	No.31	(LEDなど設備更新による省エネ) 区民(個人宅)及び事業者(飲食店・オフィスなど)に対し、LED照明化については、火災報知器普及の取り組みに準じて、無償も含め上記1の助成制度の中に含まれるマンション共用部分の照明のLED化とは、別枠の個人向け等の抜本的な助成制度をつくること。なお、公営住宅における各戸のLED照明化については、一斉に公費でLED照明化すること。また、省エネ家電の普及については、都の補助金効果をさらに促進する形で、区内事業者と連携の上、区独自補助や普及事業を促進すること。	3	LED照明の個人向け等の助成制度につきましては、共用部分の設置費助成とは別に、新たな助成制度を設ける予定はありませんが、他自治体の動向等、情報収集により、調査、研究をしてまいります。 なお、公営住宅における各戸の照明器具は、居住者個人の管理となっています。公営住宅の共用部の照明のLED化は、目黒区住生活マスタープランに基づき順次実施しております。 また、省エネ家電の区独自補助の実施については、都事業の周知を行うことで省エネ家電の普及に努めてまいります。	環境清掃部
116	団体	メール	No.32	(区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範) (庁有車の脱炭素化) 素案では2027年度に100%達成としているが、2025年度に達成することは技術的に可能であり、前倒ししてすべての庁有車とバイクを電気自動車及びEVバイクにかえること。これに伴うEV用充放電設備も併せて整備すること。	4	庁用車の脱炭素化につきましては、特殊車両など代替が困難な車両を除く全ての車両を対象に、真に必要な台数を精査し、最適化を図ったうえでZEVへの切替を行うこととしております。また、EV用充放電設備につきましては、目黒区総合庁舎受変電設備等改修工事等にて、順次整備してまいります。	総務部 環境清掃部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						車両の切替には、一定のコストがかかることから、本計画に沿って進めてまいります。	
117	議会	メール	No.33	学校施設の更新時だけではなく、2025年から2029年度に更新計画に含まれていない既存の学校施設についても、最上階の教室の天井を断熱化するなど生徒に快適な教室空間を提供する計画を立てること。また住区センターや老人いきいの家など、他の区有施設についても断熱化はすぐに結果が出る省エネ対策であり、計画を策定すること。	4	学校施設の室内環境改善については、更新対象施設のみならず既存施設についても実施していく予定です。天井断熱化も含め多様な手法について検討・研究を深め、児童・生徒に快適な教育環境を提供できるよう努めてまいります。 その他の既存区有施設についても、各室の利用状況や温熱環境を確認しながら適切な対策を検討し、快適な環境の提供に努めてまいります。	環境清掃部
118	議会	書面	No.33	実施計画改定素案P40。「区有施設の改築における省エネルギー化」記載の施設は、建て替え等が予定されている区有施設のみとなっている。既存施設のZEB化も検討していくべきと考えるが如何か、見解を伺う。	4	区では、目黒区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)である「めぐろエコプラン3」において、区有施設の新築・改築時には、施設概要や整備コストを踏まえながら、再生可能エネルギー、省エネルギー設備の検討、導入により、ZEB化を進めることとしております。 既存施設のZEB化につきましては、多面的な改修の必要があり、様々な制約があるなかで一定の成果を上げるには限界もあります。まずは施設更新時におけるZEB化の検討を優先して進めてまいります。	環境清掃部
119	議会	メール	No.35	今計画されている区域以外に、誰もが安全・安心に通行できる道路環境を確保するため、常に見直し整備をおこなうこと。	2	当事業は、目黒区交通安全計画や目黒区交通安全プログラムに基づき、区民が安全で安心して通行できる道路環境をつくるため、通学路や裏通りの交通安全対策を行うものです。 当事業で計画されている区域以外についても、随時、通学路点検を行うなど、学校関係者、警察、道路管理者が連携し、誰もが安全・安心に通行できる道路環境を確保していきます。	都市整備部
120	個人	書面	No.36	総合的な自転車対策について、自転車路線の整備より自転車置き場の整備が先ではないか。	4	総合的な自転車対策としての区営の駐輪場整備は、経費の高額化や駐輪場の適地が乏しい現状から、具体的な計画を提示するには至りませんが、検討は引き続き行ってまい	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
						ります。民営駐輪場については、市街地再開発の進展等により、規模に応じた駐輪場が一定程度開設されるものと考えています。	
121	議会	メール	No.36	周知啓発は自転車だけではなく、電動キックボードやペダル付き原動機付自転車(モペット)も加えて行うこと。また、自転車の事故防止だけではなく、電動キックボードやペダル付き原動機付自転車のナビマークについても設置・整備すること。月極めで利用できる駐輪場が減ったことにより、利用者から月極利用枠を増やしてほしいという強い要望がある。民間事業者と協力して駐輪場を増やす計画を加えること。	2	区では、目黒区自転車走行環境整備計画に基づき、自転車ナビマークの整備を進めています。電動キックボードやペダル付き原動機付自転車(モペット)等についても、自転車ナビマーク上を通行することが可能です。 例年、新たに自転車ナビマークを整備した区道周辺において、警察署と連携し、チラシ及び啓発グッズを配布するなどの周知啓発をおこなっています。今後も引き続き、自転車だけではなく、電動キックボードやペダル付き原動機付自転車(モペット)等も併せて周知啓発をすすめていきます。 令和5年度から、2カ所の定期利用駐輪場(区立)を廃止しました。そのことにより、駅周辺の放置自転車台数が特に増えた状況にはございません。駐輪場の利用ニーズを注視しながら、月極など定期利用と、時間貸しなど一時利用とのバランスを工夫していくことで、利用者の利便性の向上を想定しています。今後、再開発事業の進展等で民間事業者により、付置義務駐輪場が順次設置されることも期待されます。	都市整備部
122	議会	書面	No.36	総合的な自転車対策の推進は実施計画内で明確化しているが、電動キックボード対策はどのように取り組んでいくのか具体的な内容を盛り込むべき。	2	区では、目黒区自転車走行環境整備計画に基づき、自転車ナビマークの整備を進めています。電動キックボードやペダル付き原動機付自転車(モペット)等についても、自転車ナビマーク上を通行することが可能です。 例年、新たに自転車ナビマークを整備した区道周辺において、警察署と連携し、チラシ及び啓発グッズを配布するなどの周知啓発をおこなっています。 今後も引き続き、自転車だけではなく、電動キックボードやペダル付き原動機付自転車(モペット)等も併せて周知啓発をすすめていきます。	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
123	個人	専用フォーム		目黒区内は23区の中で、公園面積、樹木面積がワーストである。公園や樹木を大事にする区政にしてほしい。	2	目黒区の1人当たり公園面積は23区中21位、緑被率は23区中16位であり、目黒区みどりの基本計画で示す目標値にも達していません。 現在作業中のみどりの基本計画及び生物多様性地域戦略の改定の中で、多様なみどりを保全・創出するために必要な施策等を検討していきます。	都市整備部
124	個人	専用フォーム		中目黒付近の大規模な再開発で街の魅力がなくなるのを危惧している。また目黒川近くのタワーマンションは、川崎市で洪水被害があった時、タワーマンションなどが被害に遭ったことを想起する。	6	中目黒駅周辺地区では、歩行者の安全性や回遊性の向上、みどりや広場など憩いの空間の整備など、商業の活性化や地域コミュニティの醸成に向けたまちづくりが求められています。こうした課題の解決には、市街地再開発事業が有効な手法であり、ゲリラ豪雨対策として敷地内に雨水流出抑制施設の設置など様々な効果が期待できるものです。また、中目黒駅前北地区市街地再開発準備組合では、豪雨対策として機械室は地上階に設置するなど、浸水を考慮した施設計画を検討していると報告を受けております。区は、区民を主体とした市街地再開発組合と連携を取りながら、街の課題解決に取り組んでまいります。	街づくり推進部
125	団体	専用フォーム		目黒区内は歩道が狭い箇所も多く、電動キックボードや自転車、車と歩行者が分離された安全・安心な歩行空間の確保が重要であると考えます。基盤整備、特に都市計画道路整備による市街地環境の改善が歩行空間改善に寄与し、ウォーカブルな街並み形成に向けた重要な取組であるため、民間活力や地域と連携しまちづくりの基盤整備を推し進めていただきたい。	2	区では、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」（平成28年3月 東京都・特別区・26市2町）において優先整備路線に定められた補助127号線の整備を進めています。また、「目黒区基本計画」（令和4年3月）及び「目黒区都市計画マスタープラン」（令和5年4月）において、ウォーカブルなまちづくりを進めることとしています。 このことから、ウォーカブルなまちづくりに寄与する歩行者空間の形成を目指し、民間活力や地域と連携しながら、都市計画道路をはじめとした基盤整備を進めてまいります。ご意見の趣旨は実施計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	街づくり推進部
126	団体	専用フォーム		ウォーカブルな街並みの実現には、都市計画道路だけでなく計画的な駅周辺の道路ネットワーク整備・改善が	2	区では、「目黒区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想」に基づき、歩道の段差解消や無電柱化等に取	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標4 快適で暮らしやすい持続可能なまち							
				必要と考える。事業認可されている道路以外の先行整備も併せて考えていただきたい。また、駅周辺における慢性的な駐車や駐輪が存在しバスなどの車両および歩行者通行にも支障を来している為、周辺での機能整備を期待したい。		<p>り組んでいます。</p> <p>今後も、誰もが安全に安心して通行できる歩行空間の確保に向けて、駅周辺も含めた道路環境の整備をすすめていきます。</p> <p>一方、区内の駅を取り巻く交通環境は、一部の駅を除いては幅員の狭い区道に接道しており、様々な通行者が道路を共有せざるを得ない状況です。</p> <p>一時的に駐車や駐輪が集中する場合も見受けられることも事実ですが、駐車場や道路の整備には長期間を要します。今後も地域と連携しながら駅周辺の円滑な交通環境の整備に努めていきます。</p>	
127	団体	メール		(専門家による相談及び支援体制) 家庭や個人事業主に向けて、太陽光発電の設置などのエネルギーアドバイスや省エネ診断を無料で行う専門の知見を持った支援窓口を設置し、個別ケアマネ体制をつくること。	5	<p>区は、専門的な知識を有する省エネ診断や支援窓口として、国や東京都の専門相談窓口を適切に紹介することで対応してまいります。</p>	環境清掃部
128	団体	メール		(区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範) (断熱改修) 日本は建築物の断熱性基準が低く、開口部だけでも夏は7割冬は6割、穴の開いたバケツに水を注ぐがごとくエネルギーをムダに消費している。小中学校はじめとするすべての既存の区有施設について、計画的に速やかに断熱改修すること。	4	<p>目黒区環境基本計画において、区有施設の省エネルギー化・脱炭素化の推進を掲げており、既存区有施設の断熱等の省エネ改修につきましては、大規模改修や建替えの際に対応してまいります。</p>	環境清掃部
129	団体	メール		(区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範) (高い基準のZEB化) 区有施設の改築改修に際しては、「100%ZEB化」を目標とすること。改築については、構造上の柱も含め三多摩、近県の木材を使用した木造建築物をめざすこと。	5	<p>区では、目黒区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)である「めぐろエコプラン3」において、区有施設の新築・改築時には、施設概要や整備コストを踏まえながら、再生可能エネルギー、省エネルギー設備の検討、導入対策により、ZEB化を進めることとしております。</p> <p>なお、区有施設において木材利用の一層の推進を図るため、区の「木材利用推進方針」の策定を検討してまいります。</p>	環境清掃部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち							
130	個人	専用フォーム	No.38	避難所の備えの充実面では、女子トイレの確保、ユニバーサルトイレの確保、また単身者用の女性専用スペースの確保なども検討いただきたい。	3	災害時のトイレの利用方法については、各地域避難所で男女が使用するトイレ及び動線を分けることを想定しております。また、ユニバーサルトイレの確保については機能面・費用面等を考慮し、トイレ対策の手段の一つとして、調査・研究を進めて参ります。 現在、区では災害時の各地域避難所の利用方法を見直しておりますので、単身者用の女性専用スペースの確保についても併せて検討して参ります。	危機管理部
131	個人	書面	No.38	避難所生活課題について、トイレ、間仕切りなどの物資の支援も必要だが、避難所を運営する人材の育成や確保はどうなっているのか。	3	区では、平常時から避難所運営について検討する避難所運営協議会(町会・自治会、住区住民会議、学校職員等施設管理者、PTA、区職員、商店街・企業等で構成している)を各住区エリアで立ち上げております。住区エリアによっても異なりますが、年に数回の会議と1回程度の訓練を実施しておりますので、各協議会の活動を通じて、引き続き避難所を運営する人材の育成や確保を行って参ります。	危機管理部
132	個人	専用フォーム	No.38	<No. 38 避難所生活課題に対する備えの充実> 災害が起きるたびに「日本の避難所運営は昭和時代から進化していない」と批判され、台湾の地震の際のスムーズな被災地支援と比較される。海外や国内でうまくいった事例を取り込み、支援体制の更新をお願いしたい。また、官民連携により、平常時から協力体制を作っておくことが大事だと思う。区内の各企業が災害時にできることを予め集約しておき、企業や区民を巻き込んだ訓練をすることも必要なのではないか。	3	区では、平時から避難所運営について検討・訓練する避難所運営協議会(町会・自治会、住区住民会議、学校職員等施設管理者、PTA、区職員、商店街・企業等で構成している)を各住区エリア単位で立ち上げており、発災時を想定した訓練等を支援しております。 災害時の官民連携による協力体制は非常に重要であると考えており、区内事業者等と災害時協力の協定締結を進めており、防災フェスタ等の訓練にも参加いただき、平時からの顔の見える関係構築を行っております。 ご意見のありました海外や国内での災害対策好事例につきましても調査・研究し、避難所運営の支援体制の充実に努めてまいります。	危機管理部
133	団体	メール	No.38	防災における男女平等意識は27.7%と低いままである。炊き出しは男女で担うことが根付くような取り組みを進めて欲しい。また簡易トイレや間仕切りなどの常備は必須である。能登災害を教訓として避難生活の向上は	2	平常時から避難所運営について検討する避難所運営協議会の男女比率は同等程度であり、避難所運営の各分野の業務についても男女の偏りが無いように取り組んでおり、今年度改	危機管理部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち							
				利用者の当然の権利と考える施策を考えていただきたい。		定する避難所運営マニュアルについても避難所運営に関して男女共同で参画する取り組みについて明記いたします。 ご意見のありました簡易トイレやプライバシー保護用の間仕切り等の整備については、区としても重要事項と捉えておりますので、本実施計画の内容について着実に遂行して参ります。	
134	議会	メール	No.38	避難所の課題整備への対応について、国が補助を検討している移動式のトイレ・キッチンカー導入も視野に入れること。	3	避難所運営の課題にかかる整備については、国や東京都の避難所運営に必要となる資機材等の整備の考え方や補助等の状況を踏まえて調査研究をしております。特に、災害時において清潔な衛生環境の維持や心身の健康管理の面からトイレの確保が大変重要なテーマであると認識しており、様々な手法について検討しております。	危機管理部
135	議会	書面	No.38	実施計画改定素案P45.「避難所生活課題に対する備えの充実」 能登半島地震の教訓から簡易トイレ、間仕切りなどの備蓄を行うことは重要だ。地域避難所となる学校のマンホールトイレは、発災状況により下水道は使用できなくなることも想定される。災害関連死を防ぐためには、避難所環境の改善が必要である。学校施設更新時には、永久循環型トイレの設置を検討すべきと考えるが如何か、見解を伺う。	4	災害時における避難所のトイレ対策につきましては、マンホールトイレをはじめ、簡易トイレ、貯留式トイレ等、様々な事態を想定し、多重的に対策を講じる必要があると考えております。ご意見のありました永久循環型トイレの設置につきましては、機能面・費用面等を考慮し、今後災害時におけるトイレ対策の手段の一つとして、調査・研究を進めて参ります。	危機管理部
136	個人	専用フォーム	No.39	スフィア基準に沿った避難所作りを進めてほしい。	3	区では、現在、地域避難所運営マニュアルの改定を進めております。大都市である東京の目黒区では、避難所での一人当たりのスペース(3.5㎡/人)の確保など、直ちに解決が困難な課題もありますが、避難所運営についてはスフィア基準も参考に進めてまいります。	危機管理部
137	議会	書面	No.41.42	実施計画改定素案P48, P49. 経営資源の有効活用の観点で期待される効果や工夫の文章に、「特に甚大な被害が想定される木造住宅密集地域における震災を予防し、・・・」とあるが、震災を予防の意味がよくわか	1	「特に甚大な被害が想定される木造住宅密集地域における震災時の被害拡大を防ぐことができる。」という文言に修正します。	街づくり推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち							
				らない。例えば、「火災を予防し、・・・」と表現を変えた方がよいと思うが如何か、見解を伺う。			
138	議会	メール	No.41.42.45	No.41 木造住宅密集地域整備事業、No.42 整備地域等の不燃化促進、No.45 民間建築物の耐震化 No.41については近年、予算をしっかりと消化して事業を進めていた印象があるが、No.42,45については建替えの希望者を募るに際して例年苦戦しており、年度中や年度末で減額補正を行うことが定例化している。国、都の補助制度がしっかりと活用できるだけに、人手と時間をしっかりとさいて進められたい。	2,4	マグニチュード7クラスの首都直下地震が、今後30年以内に70%程度の確率で発生すると予測されており、対策が急務であると認識しています。今後も、地域住民主体の街づくり協議会、町会、商店会と連携し、協力を得ながら、災害に強く、安全で安心できる暮らしやすい街づくりを推進してまいります。また、木造住宅以外の分譲マンションなどは、数こそ少ないが堅実に診断・設計・改修と実績が出てきています。最近では、財産価値との関係からも関心が高まりつつある印象であり、今後も一定の水準で推移すると考えています。一方、能登半島地震による問い合わせが多くなっている木造住宅を重点に普及啓発活動を継続していくべきと考えています。については、耐震化事業の推進のため、区報での耐震特集、耐震フェアの開催、パンフレットの各戸配布、さらにSNSを活用して、これまで以上に積極的なPR活動を検討していきます。	街づくり推進部 都市整備部
139	議会	メール	No.43	原町1丁目3番地の防災街区整備事業による共同化建物については、建物の高さを25m以下と設定し、実際の建物は高さ21m地上7階建ての計画である。延焼遮断帯の形成を掲げた高さ設定であるということだが、近隣の同事業で建設された目黒本町5丁目24番地の建物は地上5階建てであり、周辺地域では低層の住宅街が形成されている関係上、実際の高さ設定を目黒本町5丁目24番地区に合わせることを望む。	5	原町一丁目3番地区防災街区整備事業の共同化建物の高さを定める都市計画原案では、本地区を含む周辺地域において、すでに平成27年12月に都市計画決定された「原町一丁目・洗足一丁目地区地区計画」に定められている建替えルールと同様に、建物の高さを25m未満としています。今後区としては、事業主体として事業検討を進めている原町一丁目3番地区防災街区整備事業準備組合に対し、今後決定される都市計画や、建築基準法等の法令を遵守し、近隣への影響に配慮した建築計画になるよう、適切に監督・指導を行ってまいります。	街づくり推進部
140	議会	メール	No.45	木造住宅の耐震診断は無料にし、耐震改修助成の助成額についても上限を引き上げること。	4	木造住宅などの耐震改修助成額については、平成30年度に増額しました。また、収入が少ない非課税世帯は、課税世帯より+30万円増額しています。令和6年度からは、平成12年(2000年)5月31日までに工事に着手した2階	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち							
						<p>建て以下・在来軸組み工法木造住宅についても拡充して補助対象としています。</p> <p>今後も、耐震化を取り巻く社会状況の変化や、国や都の動向などを踏まえて、制度の充実に向け検討していきます。</p>	
141	議会	書面	No.45	民間建築物の耐震化については、能登半島地震においても新耐震基準の住宅倒壊もあり、耐震診断・耐震改修の助成対象を旧耐震基準の建築物に限定して良いのか疑問である。	1	<p>令和5年3月の「東京都耐震改修促進計画」の改定に伴い、令和6年度からは新耐震基準のうち平成12年(2000年)5月31日までに工事に着手した2階建て以下・在来軸組み工法の木造住宅を追加して補助対象としています。</p> <p>助成対象の大部分が旧耐震基準の建築物となっているため、「旧耐震基準で建築された住宅等」としてはありますが、現状を踏まえ、わかりやすい記述の修正を検討します。</p>	都市整備部
142	議会	書面	No.45	実施計画改定素案P52.「民間建築物の耐震化」の事業概要に「旧耐震基準」との記載があるが、目黒区では令和6年度より平成12年5月31日以前に建てられた建築物を助成対象としているので、表現を変えた方がよいと思うが如何か、見解を伺う。	1	<p>令和5年3月の「東京都耐震改修促進計画」の改定に伴い、令和6年度からは新耐震基準のうち平成12年(2000年)5月31日までに工事に着手した2階建て以下・在来軸組み工法の木造住宅を追加して補助対象としています。</p> <p>助成対象の大部分が旧耐震基準の建築物となっているため、「旧耐震基準で建築された住宅等」としてはありますが、現状を踏まえ、わかりやすい記述の修正を検討します。</p>	都市整備部
143	個人	専用フォーム	No.46	電柱地下化などは、車歩道が分離していない狭い道路が多いイメージなので是非行って欲しい。子供や高齢者の安全だけでなく、緊急車両の通行にも影響が出ると思う。	2	<p>区では、「目黒区無電柱化推進計画」に基づき、整備計画路線約37kmの無電柱化を進めております。歩車道が分離していない狭い道路の無電柱化につきましても、東京都無電柱化チャレンジ支援事業を活用し、目黒銀座商店街等において整備中です。</p> <p>今後も、歩車道が分離していない狭い道路を含め、整備計画路線の無電柱化を推進していきます。</p>	都市整備部
144	議会	メール	No.46	無電柱化は新たな住民負担につながりかねないので、計画を精査し不要不急の計画はやめ、防災対策や住民からの強い要望がある場合などに限定すること。また、住民には丁寧な説明を行い、合意形成を図ること。特に風害がある地域においては電線と樹木が強い風により擦	2	<p>区では、「都市防災機能の向上」、「安全で快適な歩行空間の確保」、「都市景観の向上及び良好な住環境の形成」を図ることを目的として、「目黒区無電柱化推進計画」を令和2年8月に策定しました。</p> <p>当計画では、路線の重要性や施工の難易度等について評価し、国道や都道、避難所等と連絡する路線等の評価項目によ</p>	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち							
				れ、発火する恐れがあるため、無電柱化を計画すること。		り、整備計画路線として路線延長約37kmを選定しています。 今後も、整備計画路線について事業を推進していきます。	
145	個人	専用フォーム	No.47	気候変動により豪雨災害が増えている。目黒区内のハザードマップで冠水が予測される道路への、予防的な事業を求める。特に避難所へ向かうルートは大事だと思う。	3	区では、冠水等過去に水害のあった箇所や水害が想定される箇所を重点警戒箇所として、毎年作成する水防計画書に基づき、監視や巡回点検を行っております。 ご意見いただきました道路冠水の予防的対応として、引き続き、避難所へ向かうルートを鑑み、冠水が想定される箇所の監視や巡回点検を行うとともに、必要に応じて適切な雨水の排水対策を実施してまいります。	都市整備部
146	議会	メール	No.47	透水性舗装、横型浸透枳、土のう保管箱整備など豪雨も頻繁に発生し、被害も大きくなってきていることから、計画よりも前倒しで事業を進められるよう努めること。	2	区では、「目黒区豪雨対策計画」に基づき、雨水流出抑制として透水性舗装や横型浸透枳を計画的に設置しています。併せて、土のう保管箱を区内66箇所(土のう9200袋)に配備しています。 今後につきましては、過去の道路冠水等の水害実績を考慮しながら、随時、適切な箇所に整備できるよう事業を推進していきます。	都市整備部
147	個人	専用フォーム		近年、ゲリラ豪雨や地震などの災害リスクが高まっているため、災害対策に関する項目が少ないことに不安を感じる。	3	区では、基本目標として、「安全で安心して暮らせるまち」を掲げ、災害時に迅速かつ適切な対策を実施するために、実施計画に掲載した簡易トイレ等の防災資器材の計画的な充実に加え、災害対策の基本となる「自助」・「共助」・「公助」の考え方にに基づき、防災フェスタの実施や地域の避難訓練の支援、防災士資格支援事業など、地域防災力の向上に向けた様々な取り組みを進めており、引き続き、内容の充実に取り組んでまいります。	危機管理部 都市整備部
148	個人	専用フォーム		目黒川氾濫などもよくニュースで目にするようになっていたので、目黒川周辺整備等も行って欲しい。	6	現在、東京都では、洪水対策の一環として目黒川上流部において、川底を掘り下げて河川の断面を広くする河床整備工事を順次行っています。さらに激甚化する豪雨に対して大きな効果を発揮する調節池等の整備が目黒川流域で事業化され、区では早期着工に向けて目黒川流域の関連区と合同で、東京都に対して引き続き要望を行ってまいります。	都市整備部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応区分	検討結果（対応策）	所管
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち							
149	個人	書面		高齢者が多く住んでいる目黒区が”ヤミバイト”がいつ目黒区をねらってくるかドキドキしています。古い一軒家が多い住宅街にもっと防犯カメラを設置していただきたい。大通りから一本入ると全く防犯カメラはありません。”安心、安全に暮らせるまち”を更に深化していただきたい。	2	町会・自治会、商店街等に対して、防犯カメラの設置の働きかけを行い、防犯カメラ設置補助事業補助金の活用による設置促進を図り、公共の道路、公共の空間の安全・安心を確保します。	危機管理部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応区分	検討結果（対応策）	所管
その他（全体への意見、不明等）							
150	個人	書面		3つのテーマ（災害に強く安全なまちに、よりよい子育て・教育環境を子どもたちへ、デジタル活動でさらなる変革を）と事業内容が合っていないと思われるものがある。またSDGsは後から付け足したように感じられる。	7	実施計画は基本計画に掲げる施策に関して、令和7年度から計画的に進めていく必要のある事業を掲載しています。そのため、3つのテーマと事業内容が一致しない事業も計画に掲載をしています。また、個票の「関連するSDGs」には各事業を実施することで、SDGsが掲げる目標の達成に寄与するものを掲載しています。SDGsの視点を踏まえ、各事業に取り組んで参ります。	企画経営部
151	個人	書面		ふるさと納税により区の歳入が減っていると思うので魅力的な目黒区のふるさと納税を推進していただきたい。	3	目黒区の魅力を発信できる返礼品や区外から目黒区を訪れてもらえるような体験型の返礼品などについて、引き続きラインナップの充実を図り、歳入確保に努めて参ります。	企画経営部
152	個人	専用フォーム		DXを進める時に、年齢、障害の有無、収入などで取りこぼされる人がいないか意識してほしい。必要な場合はアナログなサービスを残してほしい。	2	目黒区DXビジョンでは、誰一人取り残されない、みんなが暮らしやすい目黒区を目指しております。デジタルデバインド（情報格差）解消に向けては、これまでスマホ教室や相談会のほか、QOL向上に向けたスマホイベントなどを実施しており、今後もデジタルデバインド解消に有効な取組を整理して進めてまいります。 また、様々な理由でデジタル機器を使うことが難しい場合は、デジタル以外の方法で対応するなど、それぞれの状況・事情に配慮した取組を行い、誰一人取り残さないDXを推進してまいります。	情報政策推進部
153	個人	専用フォーム		駅前や公的施設のWi-Fiが停止になったが、復活させてほしい。災害時、緊急時のためにあったはずなのに、おかしいと思う。	4	区内の駅前や一部の区有施設等に設置していた公衆無線LANは、東京オリンピック・パラリンピック開催を目標に、主に外国人観光客向けのサービス提供を目的として整備したものであり、大会終了後の利用状況等も勘案し、廃止しました。 一方、区では、図書館や住区会議室等の区有施設においてWi-Fi環境の整備を進めてきており、今後も施設の用途などに鑑み、目的を明確にした上でWi-Fi環境の整備を検討していきます。 なお、大規模な災害や通信障害発生時には、通信事業者	情報政策推進部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応区分	検討結果（対応策）	所管
その他（全体への意見、不明等）							
						等における公衆無線LANサービスが無料で開放されることとなっています（00000JAPAN）。	
154	個人	専用フォーム		友好都市から避難したご高齢の方への裁判は取りやめてほしい。	7	係争中のため、お答えいたしかねます。	総務部
155	個人	専用フォーム		公的な住宅の拡充を求める。	3	区営住宅の新規建設の予定はないため実施計画には計上しておりませんが、活用可能な住宅の転用を検討し、整備してまいります。	都市整備部
156	個人	専用フォーム		多文化共生のための、教育や講座、催しなどをして、相互理解を深める試みをしてほしい。	3	目黒区国際交流協会と連携し、多文化共生施策のより一層の理解、促進を図るため、引き続き、異文化交流事業を実施して参ります。	文化・スポーツ部
157	個人	専用フォーム		目黒区に差別禁止の条例を作してほしい。	4	区では基本構想に基づき、平和と人権・多様性の尊重を根底に据え、様々な施策を実施しています。具体的には「目黒区男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」により、差別的な言動の抑止を目指して人権啓発活動を行っております。 今後も、全ての人が互いの人権を尊重しあう地域社会の実現に向けて努力してまいります。	総務部
158	個人	専用フォーム		困窮している方がサポートや生活保護に繋がるように、相談の呼びかけをしてほしい。特に年末年始の前など。（中野区、杉並区など23区で先例がある）	7	生活に困窮されている方が区の窓口につながるよう、これまでも区公式ウェブサイト、各種SNS、関係機関等を通じて周知を図ってきたところです。 支援に繋がっていない生活困窮者等が必要な支援サービスを受けられるよう、引き続き制度の周知を図ってまいります。	健康福祉部
159	個人	FAX		私は今、食品廃棄物削減に取り組んでいる。ウクライナ戦争で世界的に食糧危機が噂される中日本では賞味期限切れでまだ食べられる物を毎日何百万食も廃棄されている。官庁関係に働きかけているが、日本の心、もったいない精神に恥じる行為ではないだろうか。一人でも多くの方々と共に取り組んで行けたらと	4	区では食品ロス削減の取組として、廃棄されてしまう商品を消費者のニーズとマッチングさせることで食品ロスの発生を減らす仕組みである「フードシェアリングサービス」の推進や家庭で余っている食品を集めて福祉団体やフードバンクなどに寄付する「フードドライブ」の活動支援、捨てられがちな食材を使い切ることをテーマとした「食べきりレシピ」をめぐる区報偶数月の15日号にて連	環境清掃部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応区分	検討結果（対応策）	所管
その他（全体への意見、不明等）							
				願っている。ピンチをチャンスに国民の大きな動きに成れば幸いである。		載しており、区内事業者や区民の皆様への普及啓発を図っております。 ご指摘のとおり、食品ロス世界的に深刻な問題と認識しておりますので、さらなる食品ロス削減推進のため、引き続き調査研究を進めてまいります。	
160	個人	書面		個票の特定財源の内訳がないため、見方によっては、全額国・都補助金で区の持ち出しが無いように見える（特に学校施設更新）。	1	一般財源の内訳が分かるよう、個票の形式を一部変更いたします。	企画経営部
161	団体	専用フォーム		ボランティアグループの活動に関する目黒区への要望 ① 定期的な会場の確保 ② ①に付随し教材、資料のためのロッカーの確保 ③ 例えば毎週の活動を目黒区やMIFAとの協働事業とし、会場確保の安定化を図りたい	7	施設改修により既存の貸室が利用できないことにつきましてご迷惑をおかけしております。継続的な活動という点からも、ご意見の趣旨は理解しておりますが、他団体との公平性の観点からも直ちに要望にお応えすることは困難であると考えております。令和7年から貸室の見直しに伴い、利用可能な施設の範囲が拡大いたしますので、本制度をご活用いただけたら幸いです。	文化・スポーツ部
162	団体	メール		男女平等・共同参画センターの認知度を上げるさらなる工夫が必要である。センターの所在地や行っている事業を知る人が20%に満たないことは問題である。現行の事業に加え新たな周知の工夫が必要と考える。新たな区民センターに設置されるセンターの在り方についても利用者へ逐次の情報公開を求める。	3	男女平等・共同参画センターの認知度向上については、これまでも工夫しながら取り組んできましたが、引き続き効果的な周知方法の検討を進めてまいります。 新たな区民センターに設置される男女平等・共同参画センターの在り方については、今後事業の再検討を行うこととしておりますので、その検討の中で改めてお知らせしてまいります。	総務部
163	団体	メール		地域（町会）などの活動における男女平等意識の向上に取り組む施策を求める。男性の意識改革が必要である。	4	目黒区男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進する計画に「地域・団体活動の充実と男女平等・共同参画の促進」を掲げ、男女が均等に地域活動に参加・参画するための啓発を行っております。今後も引き続き、講座等を通じて、男女平等・共同参画の実現に向けた意識啓発に取り組んでまいります。	総務部
164	団体	メール		DVやセクシュアルハラスメントの防止施策の充実に望む。相談窓口の充実など被害者（女性も男性も）	4	目黒区男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進する計画に「配偶者等からの暴力の根絶及び被害者支援」、「女性への暴力やハラスメントの根絶」を掲げ、未然防止	総務部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応区分	検討結果（対応策）	所管
その他（全体への意見、不明等）							
				の救済を充実させることはもちろんのこと、男性の意識改革を進める施策を望む。		や早期発見、相談体制の充実に取り組んでおります。今後も引き続き、講座や相談事業等の充実を図り、男女平等・共同参画の実現に向けた意識啓発に努めてまいります。	
165	団体	専用フォーム		目黒川の景観を生かした事業推進を期待している。	3	旧川の資料館などの既存施設の利活用や、施設の整備と更新にあわせた公共空間などの創出を図り、地域住民、事業者、エリアマネジメント組織などと連携した居心地の良い河川空間づくりと、ウォークアブルなまちづくりを進めていきます。	都市整備部
166	団体	専用フォーム		区内の区有施設の老朽化対応が急務と考える。学校の建て替えなど子どもたちの安全な環境整備はもちろんのことだが、区民センターやその他区有施設（例えば緑が丘会館など）の修繕、更新は防災性向上の観点からも必要と考える。	4	区有施設の老朽化への対応、快適性・安全性の確保は重要な課題と認識しており、合わせて区民ニーズの変化にも的確に対応していく必要があります。限りある財源の中で様々な工夫を行い、区有施設見直しの取組を進めていきます。	企画経営部
167	団体	メール		（区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範） （地産地消に向けた住民参加と自治）地区ごとのフォーラム（公開討論会）の開催と、継続的に推進するための組織、数百人規模の区民参加に向けた目黒カーボンゼロ推進会議（気候区民会議）を立ち上げること。 気候区民会議で出された様々な具体的提案を実現する区民的な推進体制を構築すること。	5	2050年のゼロカーボンシティ実現のロードマップとして、目黒区環境計画を策定しており、計画の推進体制として、庁内各所属の横断的連携により施策を推進していくとともに、区民、事業者、区が連携・協力して取り組んでいくための会議体として「目黒区地球温暖化対策地域協議会」を設置し広く意見交換を行っております。 ご意見の会議体の設置や地区ごとの開催等につきましては、現時点で考えておりませんが、今後の他自治体の状況やその成果、課題などを情報収集し、計画の重点プロジェクトを進める中で、検討してまいります。	環境清掃部
168	団体	メール		（区有施設における省エネと再エネ化の率先垂範） （脱炭素の推進体制）全庁を挙げての日常的な推進体制が重要であり、中心になる部署として環境保全課とは独立した気候危機・エネルギー対策課を設置すること。職員体制を大幅増員するとともに、専門の人材を登用・育成すること。	4	区では、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に、全庁を挙げて推進するため、区長を本部長とする目黒区地球温暖化対策推進本部を設置し、本部会議のほか、対策を推進するうえで必要な専門部会を設け、関係所管間の情報共有、連携強化を図っております。引き続き、組織内の横断的連携の強化に努めてまいります。	環境清掃部

(6) パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

整理番号	区分	種別	個票No.	意見内容（要旨）	対応区分	検討結果（対応策）	所管
その他（全体への意見、不明等）							
169	議会	書面		実施計画に記載されている各事業には、SDGsの17のゴールと結び付けているが、単に“結び付けている”との印象しかない。SDGsの17のゴール達成に向けてどう貢献しているのか、見える化をする考えはないか、見解を伺う。	4	限られた中で区が実施する計画について分かりやすく記載することを重視しておりますため、SDGsについては多く記載してございませんが、「関連するSDGs」の欄を用いて各事業を実施することでSDGsの17のゴールの達成に寄与することを示しております。	企画経営部